

令和 2 年度事業報告

新型コロナウイルス感染症が収束しない中、「地域福祉の推進」の大きな力である、市民による福祉活動やボランティア活動の多くは自粛を余儀なくされ、地域の多様な皆さんと連携し進めてきた介護予防活動やサロン活動の休止や福祉サービスの利用自粛による高齢者の方々の健康維持の問題、自粛生活による心身の不調、孤独感を抱える方への対応、経済的な困窮に対する相談支援などコロナ禍での生活課題への対応を求められてきました。

このような課題に対し、特にコロナの影響により休業や失業等により収入が減少し困窮した市民に 984 件 278,534 千円の生活福祉資金特例貸付を実施し、生活再建の支援に当たりました。また、介護事業においては、一時的に通所介護の利用者は減少したものの、利用者の体調把握や建物の衛生管理を継続的に実施したことにより、施設内の感染発生なく利用状況も回復しました。

令和 2 年度は「思いやりが根づくまち千歳」を基本理念とする、第 7 次地域福祉実践計画がスタートし、感染症対策を取りながら、地域包括ケアシステムの構築と地域共生社会の実現に向け、困ったときにお互いに助け合えるしくみづくり、誰もが気軽に集える居場所づくり、災害に備えた地域づくりを目指し、地域の皆さん、関係機関の方々の協力により各種事業に取り組みました。

新規事業では、ふれあい広場事業の取り組みの一つとして「ユニバーサルマナー検定 in 千歳」を実施し、市民が「お互いに支え合う」一歩を踏み出すきっかけづくりを進めました。また、市内 7 つの社会福祉法人ネットワーク懇話会については「利用・活用サポートガイド」を活用し、社会福祉法人の地域公益活動の推進に努めました。災害ボランティアセンター機能の拡充については、協定団体と共同で試作した「ボランティア登録・予約システム」を活用した実働訓練を実施、大規模災害への対応力向上を図りました。

さらに、今年度初めて開催した「市民後見人養成講座」は参加者 17 名全員が全日程を修了、うち 14 名が千歳市成年後見センターの法人後見を支援する「後見支援員」に登録し、成年後見制度を市民の立場で支える体制づくりを進めました。

本年度の重点項目に掲げた 6 項目の実施概要及び進捗状況については、次のとおりです。

【重点項目】

(1) 支え合い活動に参加する人づくりの推進

- ①生活上のちょっとした困りごとをお互いさまの活動で支える「暮らしのちょっと応援サービス(ヤマセミねっと)」の協力者の拡充を目的に、協力者養成講座を年 3 回開催して新たに 8 名が登録し、78 名となり人材確保と事業の普及に努めました。
- ②若者や働く世代がボランティア活動への参加のきっかけとなるよう、年間を通して福祉、文化、まちのイベントなどの活動に参加することができる「若者・働く世代向けボランティア体験講座」については、6 施設・2 団体の協力を得て、21 名が参加し、ボランティア活動への参加の促進を図りましたが、コロナ禍に影響もあり、参加者は前年度比 66 名の減少となりました。

（２）社会福祉法人ネットワーク懇話会による公益的な取り組み

- ①地域福祉権利擁護体制構築に向けた法人・施設による福祉サービス利用援助事業には 2 法人が参加、認知症等の行方不明搜索に協力する千歳地域 SOS ネットワーク事業には 6 法人が参加し、法人の専門性を活用して地域公益活動の推進に取り組みました。
- ②市内 4 法人が参加して作成した「市内社会福祉法人利用・活用サポートガイド」では、備品貸出など 5 件の利用があり、地域公益活動の「見せる化・見える化」に努めました。

（３）高齢者が活躍できる居場所づくりの拡大

- ①地域住民、専門職や資源と連携した高齢者の居場所として「ちょこっと茶屋（東区）」や「いぶすき茶屋（南区）」の取り組みを進めたほか、新たに「ちょこっと茶屋（向陽台区）」と「げんき茶屋（北区）」をスタートさせ、地域の居場所づくりの拡大を図りました。
- ②コロナ禍において、多くの地域活動が中止・縮小を余儀なくされ、迷いや不安を抱えながら手探りで活動を進める町内（自治・連合）会に対して、市内や全国各地で工夫して取り組まれている地域活動の事例を紹介する「コロナ禍での地域活動事例集～ヒントブック～」を作成し、住民同士のつながりを切らさないための地域活動の支援に努めました。また、コロナ禍の外出自粛期間中、市民が自宅で取り組んだ作品の展示イベントとして、「ちとせ de コレクション」を開催しました。

（４）災害ボランティアセンター機能の拡充

- ①協定締結団体と協働で「ボランティア登録・予約受付システム」を試作し、この運用を検証するための実動訓練を行い、大規模災害に伴う実践に備えた対応力向上を図りました。また、「防災ボランティアリーダー養成研修会」を開催し、災害ボランティアに興味のある市民及び協定団体関係者 22 名と職員 9 名が、厚真町災害ボランティアセンターの事例から、災害ボランティアセンターの運営、被災者のニーズと関わり方などを学び、同センターの運営を支援する協力者の養成と職員の資質向上を図りました。
- ②災害ボランティアセンターの設置・運営に係る経費の財政支援と、全国各地から支援に駆け付けることが予想されるボランティアの駐車場所及び待機場所の提供について、千歳市へ要望書を提出し、適切な受け入れの対応が図れるよう協議を行いました。

（５）地域における権利擁護体制の構築

- ①成年後見支援センターの相談件数は全体で 1, 017 件となり、成年後見制度関連が 222 件（22%）、日常生活自立支援事業関連が 795 件（78%）と、前年度比 2 倍を上回る相談が寄せられました。

そのうち成年後見申立て支援につなげた件数は 13 件、法人後見の受任に至った件数は 4 件、また、日常生活自立支援事業の契約に至った件数は 6 件となり、判断能力に不安のある高齢者や障がい者等に、日常生活自立支援事業から成年後見制度利用まで一体的な権利擁護支援に努めました。

- ②成年後見制度利用を市民の立場で支える市民後見人の養成講座を恵庭市社会福祉協

議会と共催し、全受講者のうち本市在住の受講者 17 名全員が修了、そのうち新たに 14 名が社協の法人後見を支援する後見支援員に登録し、権利擁護を担う人材育成に取り組みました。

(6) 利用者ニーズに即した良質な福祉サービスの提供・体制の強化

①新型コロナウイルス感染症に係る感染予防に留意しながら、インターネットを活用した外部研修の参加や介護技術向上及び感染症対策に重点をおいた社内研修により、職員の人材育成に努めました。

また、デイサービス事業においては、普段と異なる体調の異変があった場合は利用を控えるなど利用者又はその家族の協力を得ながら、運動メニューの強化による利用者の体力向上と計画的な衛生管理による感染予防対策の徹底により、安全なサービスの提供に努めました。

②地域包括支援センターは、コロナ禍において、介護予防ケアマネジメント等の利用者との対面の支援が制限されたり、地域関係者の会議に参加ができない時期があったことから、全般に総合相談は減少傾向となり、介護保険サービスの利用控えによる実績の減少となりました。感染対策のため様々な制約のなかでも専門職のネットワーク構築のため、地域ケア会議や事例検討など多職種連携の機会づくりに努めました。また、民生委員の定例会議や町内会活動への参加により地域のインフォーマルな支援との連携に努めました。

会議等の開催状況

(会場：社協会議室)

1 評議員会

定時評議員会 (提案事項の書面による同意) 評議員 18 名	令和 2 年 6 月 17 日	・ 令和 2 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の結果について ・ 令和元（平成 31）年度事業報告並びに会計収支決算について ・ 監査報告について ・ 令和 2 年度第 1 回会計収支補正予算について
臨時評議員会 評議員 11 名／理事 4 名／監事 3 名	令和 3 年 3 月 26 日	・ 令和 2 年度第 2 回・第 3 回会計収支補正予算について ・ 令和 3 年度事業方針・事業実施項目について ・ 令和 3 年度会計収支予算について

2 理事会

第 1 回 (提案事項の書面による同意及び確認) 理事 14 名 監事 3 名	令和 2 年 5 月 27 日	・ 会長専決事項の報告について ・ 令和元年度第 4 四半期（1 月～3 月）の事業実施状況並びに会計収支状況について ・ 福祉サービス運営適正化に係る第三者委員の委嘱について ・ 令和元（平成 31）年度事業報告並びに会計収支決算について ・ 監査報告について ・ 令和 2 年度第 1 回会計収支補正予算について ・ 評議員選任候補者の推薦について ・ 書面審議による令和 2 年度定時評議員会の招集について
第 2 回 理事 13 名 監事 3 名	令和 2 年 8 月 21 日	・ 会長及び常務理事の職務執行状況について ・ 令和 2 年度第 1 四半期（4 月～6 月）の事業実施状況並びに会計収支状況について ・ 令和 2 年度第 2 回監査の報告について ・ 令和 2 年度地域福祉実践計画検証委員会の結果について ・ 令和 2 年度第 1 回成年後見支援センター運営委員会（書面審議）の結果について ・ 令和 2 年度第 1 回成年後見支援センター受任調整委員会の結果について ・ 新型コロナウイルス感染症拡大予防に伴う本会事業等の実施状況について ・ 委員会委員の委嘱について ・ 令和 2 年度第 2 回会計収支補正予算について
第 3 回 理事 13 名	令和 2 年 11 月 27 日	・ 会長及び常務理事の職務執行状況（4 月～9 月）について ・ 令和 2 年度第 2 四半期（7 月～9 月）事業実施状況並びに会計収支状況について

監事 3 名		・ 令和 2 年度第 3 回監査の結果について ・ 令和 2 年度表彰審査委員会の結果について ・ 令和 2 年度第 2 回千歳市成年後見支援センター受任調整委員会の結果について ・ 令和 2 年度第 1 回広報委員会の結果について ・ 令和 2 年度千歳市社会福祉功労等表彰式の結果について ・ 令和 3 年度予算編成の基本方針について ・ 本会職員期末手当・勤勉手当支給規則の一部を改正する規則の制定について
第 4 回 理事 11 名 監事 3 名	令和 3 年 2 月 16 日	・ 令和 2 年度第 3 四半期（10 月～12 月）事業実施状況並びに会計収支状況について ・ 令和 2 年度第 4 回監査の結果について ・ 令和 2 年度第 3 回千歳市成年後見支援センター受任調整委員会（書面会議）の結果について ・ 本会事務局規程の一部を改正する規程の制定について ・ 本会愛情銀行規程の一部を改正する規程の制定について ・ 役員候補者の選出に係る推薦団体等について ・ 評議員候補者の選出に係る推薦団体等について ・ 令和 2 年度第 3 回会計収支補正予算について ・ 令和 2 年度臨時評議員会の招集について
第 5 回 理事 12 名 監事 3 名	令和 3 年 3 月 18 日	・ 令和 2 年度第 2 回広報委員会の結果について ・ 令和 2 年度千歳市成年後見支援センター第 2 回運営委員会（書面会議）の結果について ・ 生活応急資金支払い免除について ・ 令和 3 年度事業方針・事業実施項目について ・ 令和 3 年度会計収支予算について ・ 令和 3 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の招集について ・ 令和 3 年度定時評議員会の招集について

3 正副会長会議

第 1 回 正副会長 3 名、常務理事、事務局 1 名	令和 2 年 4 月 1 日	・ 令和 2 年度職員配置について ・ 今後の会議等の予定について（4 月～6 月） ・ 新型コロナウイルス感染症拡大に係る業務状況について
第 2 回 正副会長 3 名、常務理事、事務局 1 名	令和 2 年 5 月 21 日	・ 令和 2 年度第 1 回理事会の議案について ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止等に伴う業務状況について ・ 今後の予定について

第3回 正副会長3名、常務理事、事務局1名	令和2年 8月21日	・令和2年度第2回理事会の議案について ・新型コロナウイルス感染症拡大防止等に伴う業務状況について ・第58回千歳市社会福祉大会の開催について ・今後の予定について
第4回 正副会長3名、常務理事、事務局1名	令和2年 11月19日	・令和2年度第3回理事会の議案について ・今後の予定について
第5回 正副会長2名、常務理事、事務局1名	令和3年 2月10日	・令和2年度第4回理事会の議案について ・今後の予定について
第6回 正副会長3名、常務理事、事務局1名	平成3年 3月11日	・令和2年度第5回理事会の議案について ・職員の退職・新規採用等について ・今後の予定について

4 各種委員会

(1) 広報委員会

第1回広報委員会 委員4名／職員2名	令和2年 10月22日	・広報紙「今日から、」の発行状況について ・ホームページの運用状況について
第2回広報委員会 委員5名／職員2名	令和3年 3月1日	・広報紙「今日から、」の発行状況について ・ホームページの運用状況について ・令和3年度社協広報活動について ・今後の会議予定について

(2) 地域福祉実践計画検証委員会

第1回地域福祉実践計画検証委員会 委員10名／職員8名	令和2年 6月25日	・第6次地域福祉実践計画令和元年度（5年次目）進捗状況及び評価について ・第6次地域福祉実践計画の総括について ・第7次地域福祉実践計画の進行管理について
--------------------------------	---------------	---

(3) 成年後見支援センター・受任調整委員会及び運営委員会

千歳市成年後見支援センター第1回運営委員会（書面会議） 委員6名	令和2年 5月14日	・令和元年度事業報告について ・令和元年度決算報告について
千歳市成年後見支援センター第1回受任調整委員会 委員5名／職員4名	令和2年 7月10日	・成年後見人候補者の調整・選定について ・意見書「千歳市成年後見制度利用支援事業の対象者の拡大について」の提出について

千歳市成年後見支援センター第2回受任調整委員会 委員5名／職員4名	令和2年 10月16日	・意見書「千歳市成年後見制度利用支援事業の対象者の拡大について」の回答について ・成年後見人候補者の調整・選定について
千歳市成年後見支援センター第3回受任調整委員会（書面会議） 委員5名	令和3年 2月5日	・後見支援員の選考について ・法人後見受任の可否について
千歳市成年後見支援センター第2回運営委員会（書面会議） 委員6名	令和3年 3月5日	・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について

(4) その他委員会

第1回評議員選任・解任委員会 委員5名／職員1名	令和2年 5月29日	・評議員の補充選任について
表彰審査委員会 委員5名／職員2名	令和2年 10月1日	・令和2年度被表彰者の審査

4 監 査

(1) 法人監事監査

・第1回監事監査

と き 令和2年5月25日

実施者 藤村千秋監事、斉藤元彦監事、五十嵐隆子監事

内 容

(1) 令和2年1月1日から令和2年3月31日までの事業の業務執行状況について

(2) 令和2年1月1日から令和2年3月31日までの会計監査について

(3) 令和元年度決算書類の監査について

(監事監査意見)

収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態を正しく示していると認める。事業は適切に執行していると認める。

・第2回監事監査

と き 令和2年8月18日

実施者 藤村千秋監事、斉藤元彦監事、五十嵐隆子監事

内 容

(1) 令和2年4月1日から令和2年6月30日までの事業の業務執行状況について

(2) 令和2年4月1日から令和2年6月30日までの会計監査について
(監事監査意見)

収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態を正しく示していると認める。事業は適切に執行していると認める。

・第3回監事監査

と き 令和2年11月20日

実施者 藤村千秋監事、斉藤元彦監事、五十嵐隆子監事

内 容

(1) 令和2年7月1日から令和2年9月30日までの事業の業務執行状況について

(2) 令和2年7月1日から令和2年9月30日までの会計監査について

(監事監査意見)

収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態を正しく示していると認める。事業は適切に執行していると認める。

・第4回監事監査

と き 令和3年2月9日

実施者 藤村千秋監事、斉藤元彦監事、五十嵐隆子監事

内 容

(1) 令和2年10月1日から令和2年12月31日までの事業の業務執行状況について

(2) 令和2年10月1日から令和2年12月31日までの会計監査について

(監事監査意見)

収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態を正しく示していると認める。事業は適切に執行していると認める。

(2) 会計事務所による会計訪問指導（実施者：税理士法人さくら総合会計）

<法人本部>

第1回 令和2年4月10日
第2回 令和2年5月19日
第3回 令和2年7月30日
第4回 令和2年9月30日
第5回 令和2年11月17日
第6回 令和3年1月15日

<ほっとす>

第1回 令和2年4月9日
第2回 令和2年5月18日
第3回 令和2年7月29日
第4回 令和2年9月29日
第5回 令和2年11月16日
第6回 令和3年1月14日

基本目標１ 地域づくりを主体的に担う人づくり

１ 地域ニーズに応じられる「お互いさま」の担い手の養成

（１）ちとせ市民ふくし講座事業

ア．ボランティア活動編（千歳市生活支援体制整備事業地域づくり研修会）

イ．地域づくり編（市主催：地域福祉フォーラム併催）

地域住民の個別の生活ニーズに応える仕組みを構築するため、市民一人ひとりが地域を支え合い「いつまでも住み続けられる地域づくりを目指す」ための人材育成を目的に「ちとせ市民ふくし講座」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

（２）ふれあい広場事業

ア．ユニバーサルマナー検定３級 in 千歳 新規

と き 令和２年１２月５日

会 場 千歳市総合福祉センター

受講者 ３０名

内 容 ユニバーサルマナー検定３級の実施

講 師 一般社団法人ユニバーサルマナー協会 牧野 准子 氏

エムブイピークリエイティブジャパン 大海 恵聖 氏

イ．ふれ愛デーチャリティパークゴルフ交流会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。（令和２年度をもって終了）

（３）暮らしのちょっと応援サービス事業（ヤマセミねっと）重点

住民相互の助け合いを基本に、制度の狭間のニーズなど、生活のちょっとした困りごとの支援を通じて、助けたり、助けられたり、お互いさまの地域づくりを進めるため、住民参加型の有償サービス「暮らしのちょっと応援サービス事業（ヤマセミねっと）」を実施しました。

また、利用事例を紹介するパンフレットを作成し、利用者・協力者へ配付するなど制度の周知を図りました。

① 協力者登録養成講座の開催

ア．暮らしのちょっと応援サービス協力者養成講座

と き 令和２年１０月８日、１１月４日、１２月１０日（３回）

会 場 鉄東コミュニティセンター、千歳市社会福祉協議会、泉沢向陽台コミュニティセンター

出席者 １７名

協力者登録 ８名（合計７８名）

内 容 暮らしのちょっと応援サービス事業の説明

イ. ヤマセミねっと事業視察受け入れ

と き 令和2年9月9日(恵庭市社協)

会 場 千歳市社会福祉協議会 会議室4

出席者 8名

内 容 暮らしのちょっと応援サービス事業と活動状況の説明

② 事業周知

- ・社協事務所正面玄関に看板設置(8月、3月)
- ・周知用チラシ(SOS協力団体146団体)、ポスター、宣伝用ポケットティッシュ作成配付掲示活動
- ・社協「今日から」(5月号、9月号、1月号)、広報ちとせ(10月号、11月号タウンガイド欄)事業周知、養成講座開催記事の掲載
- ・介護予防教室等での「暮らしのちょっと応援サービス協力者養成講座」の事業周知(9か所)

③ 支援状況

	実利用者数	支援回数(延べ)	実協力者数	協力者派遣人数(延べ)
令和2年度	32名	276回	35名	292名
令和元年度	37名	165回	35名	175名

④ 支援内容(延べ回数)

家事支援							外出支援		話し相手	ワンポイント		合計
掃除洗濯	買物	ゴミ出し	電球取替	簡単大工	草取り	木伐採	通院	趣味	代筆	衣類整理	家具移動	
50	21	156	1	5	15	8	2	2	5	1	10	276

⑤ 利用者及び協力者へのアンケート調査の実施

暮らしのちょっと応援サービス(ヤマセミねっと)の資質向上を目的に利用者75名(回答率32%)及び協力者74名(回答率73%)を対象にアンケート調査を実施し、利用者アンケートでは満足度について「満足している」が約9割となった一方で制限が多いという意見がありました。また、協力者アンケートではコロナ禍での活動の不安や活動時の困りごとなど意見があったことから、アンケート結果を基にヤマセミねっと案内リーフレットの更新作成を行いました。

⑥ ヤマセミねっと案内リーフレットの配付

アンケート調査を基に具体的な活動例や活動時の注意点、疑問点に沿った内容のリーフレットを利用者及び協力者に配付し、ヤマセミねっとの啓発を図りました。

⑦ 個人宅を訪問する際の感染症対策と注意点のチラシ作成と配布

ヤマセミねっと協力者に新型コロナウイルス感染症対策として、訪問する際の注意点を記載したチラシを配布し、安心して活動いただけるよう側面から支援しました。

2 ボランティア団体の活動支援と若い世代などがボランティア活動へ参加するきっかけづくり

(4) ボランティアセンター運営事業

ア. ボランティア活動の調整、相談

ボランティアの登録及び斡旋、ボランティア活動上の相談等について、ボランティアアシスタントが随時相談に応じ、ニーズに応じて需給調整を行いました。

① ボランティア登録状況

	令和元年度（＊新規登録）	令和2年度（＊新規登録）
個人登録ボランティア	369 名 (61 名)	445 名 (58 名)
登録グループ	129 団体(13 団体)	125 団体(8 団体)

＊継続意向確認の調査を実施し、団体・個人ボランティア名簿の整理を行った。

② ボランティア依頼件数、活動人数（延べ）

	個人	団体	きずな	合計（前年比）
活動件数（件）	129	1	662	792（△1,436）
活動人数（名）	427	2	762	1,191（△2,554）

③ 登録ボランティア活動状況（個人・団体）

活動場所・依頼先		活動内容	活動件数			活動人数		
			個人	団体	合計	個人	団体	合計
保 育	千歳市こども通園センター	保 育	2	—	2	3	—	3
	〃（青い鳥）		1	—	1	1	—	1
	千歳市親子イベント実行委員会		2	—	2	2	—	2
	祝梅デイサービスセンター		1	—	1	1	—	1
	ブンブンハウス		3	—	3	3	—	3
援 行 事 支	介護予防センター	教室支援	11	—	11	12	—	12
	千歳高校ボランティア部	マスク作り	—	1	1	—	2	2
そ の 他	ボランティアセンター土曜開設	土曜支援	40	—	40	78	—	78
	ピンクリボン作成活動	作成活動・啓発	11	—	11	53	—	53
	切手整理	仕分け作業	8	—	8	20	—	20
	編み物ボランティア	小物作成	13	—	13	135	—	135
	赤い羽根共同募金	募金仕分	2	—	2	14	—	14
	「福祉の授業」支援	授業支援	15	—	15	42	—	42
	社協広報誌「今日から、」	仕分作業	4	—	4	21	—	21

	ボランティアセンター ーおもしろ川柳!	協力者	15	—	15	41	—	41
	農作業	農作業支援	1	—	1	1	—	1
	千歳市きずなポイント事業	話相手等	662	—	662	762	—	762
	合 計		791	1	792	1,189	2	1,191
	(前年比)		(△1,322)	(△114)	(△1,436)	(△2,739)	(△445)	(△2,554)

イ. ボランティア関連情報の発信

① 社協広報紙、チラシ・ポスターによる情報発信

幅広くボランティア活動に対する理解と認識を高めるとともに、活動参加へのきっかけ作りとなるよう広報啓発活動を行いました。また、ボランティアフロアにおいてボランティア関連資料の公開や事業の案内チラシやポスターを作成しました。

・会報紙「今日から、」 5月、7月、9月、11月、1月、3月(年6回)

② ボランティア活動情報掲示板の設置

社協事務所及び公共施設の掲示板等を活用し、ボランティア情報の提供を図りました。

・設置場所 社協事務所、市民活動交流センター、総合福祉センター、コミュニティセンター(11か所)、郵便局(4か所)、図書館、東雲会館、市民ギャラリー、文化センター、スポーツセンター、温水プール、総合武道館、公民館、サーモンパーク千歳、千歳タウンプラザ、イオン千歳店、ビッグハウス千歳店、ちとせモール、千歳ステーションプラザ、マルハン千歳店、ビーバースイミングクラブ

③ ホームページを活用し、ボランティア関連情報を発信しました。

ウ. ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動中のさまざまな事故による怪我や損害賠償責任の補償の備えとして、活動者に対して、ボランティア活動保険等への加入促進を図りました。

保険種別	件 数(件)	申込人数(名)	保険金請求件数(件)
ボランティア活動保険	216	2,079	4
ボランティア行事保険	58	2,464	1
福祉サービス総合補償	8	227	2

エ. 関連資料の収集、公開及び各種資機材の貸し出し

ボランティア活動の推進のため、印刷機、視聴覚機材や福祉関係参考図書、ビデオ等の貸出しを行い、活動を側面的に支援しました。

- ① ミーティングテーブル 90件(386人)
- ② メールボックス利用 41団体
- ③ 印刷機(1台) 214件 ※利用料 50円/1製版
- ④ 図書、ビデオ 0件
- ⑤ 視聴覚機材 6件
- ⑥ 血圧計 1件

オ. ボランティアセンターの土曜日開設

ボランティアサポーターの協力により、土曜日にボランティアセンターを開設し、ボランティア活動に関

する相談をはじめ、印刷機、ミーティングルーム、図書、ビデオ、視聴覚機材の貸出しを行いました。

- ① サポーター人数 14名(男性6、女性8)※1名増(男性1)
- ② 開設回数 40回(祝日を除く土曜日)
- ③ 定例会議 6回(偶数月実施)

カ. 千歳市ボランティアセンターおもしろ川柳!

新型コロナウイルスの影響でボランティア活動を自粛している中でも取り組むことができる活動として実施しました。「五・七・五」で表現した作品を通じて笑顔になれる瞬間やほっとできる時間をつくり、ボランティア同士のつながりを深めることができました。

- ① 周知方法 ホームページ掲載、「今日から、」(11月号)、生活情報誌ちゃんと、北海道新聞
- ② 参加者 85名
- ③ 応募総数 712句

キ. ボランティアセンターのランチデー開催 参加者計 36名

ボランティアフロアを会場に、ボランティア同士の仲間づくりや情報交換の場として開催しました。

	第1回	第2回	第3回
と き	令和2年5月22日	令和2年12月4日	令和3年2月26日
内 容	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	「防ごう!感染症」 講師:介護予防係岡部保 健師	「体験!リモートサロン」 講師:千歳認知症の人を 支える家族の会、千歳 フォークダンスハートフル
参加者	—	14名	22名

ク. 無線LAN(Wi-Fi)サービスによるボランティア支援

ボランティアフロアで簡単にインターネットを利用できるよう、無料で無線LAN(Wi-Fi)サービスを提供し、ボランティアを支援しました。

- ・無線LAN(Wi-Fi)接続件数 1,208件(前年度:822件)

ケ. 他市町村ボランティアセンターと連携した研修等の実施

他市町村で開催されるボランティア研修事業等に参加費を助成するなど、積極的な参加を促すとともに、体験プログラム、研修などを共同で実施しました。

① ボランティア愛ランド北海道 2020in えべつ

と き 令和2年9月12日

会 場 江別市

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次年度へ延期

② 石狩地区ボランティアネットワーク協議会

a. 石狩地区ボランティア活動推進会議

と き 令和2年10月23日

会 場 札幌市

出席者 事務局2名

内 容 石狩地区ボラネット推進事業実施報告、石狩地区ボラネットスキルアップ研修会について

b. 令和2年度石狩地区ボランティアネットスキルアップ研修会(開催地:千歳市)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度へ延期

③厚真町社会福祉協議会視察受け入れ

と き 令和2年7月7日

場 所 会議室 2.3

出席者 厚真町社協 3名、千歳市社協 2名

内 容 ボランティアセンター運営事業、きずなポイント事業について

(5) ボランティア団体活動助成事業

ボランティア活動の推進を図るため、印刷機、視聴覚機材、福祉関係図書及びビデオ等の貸出しを行い支援するとともに、ボランティア団体の組織強化と活動支援を目的に活動費の一部を助成しました。

	令和元年度	令和2年度
グループ数	32 団体	32 団体
助成金額	349,720 円	349,900 円

(6) 若者働く世代向けボランティア体験講座 重点

若い世代や働く世代のボランティア活動への参加のきっかけとして、年間を通して福祉、文化、まちのイベントなどの活動に参加できる機会づくりを進め、ボランティア活動への関心と活動の促進を図ることを目的に開催しました。

体験期間 8月1日～3月31日

協力施設・団体 11 施設・3団体(受入6施設・2団体)

①子育て支援施設(協力施設:4施設)

住吉認定こども園、第2住吉保育園、向陽台保育園、認定こども園北陽幼稚園・第2北陽保育園

②障がい者支援施設等(協力施設:1施設・2団体)

いずみワークセンター、千歳視覚障害者福祉協会、千歳身体障害者福祉協会

③高齢者支援施設等(協力施設:1施設)

デイハウスえみな

参加者 21 名

(延べ 28 名:小学生 0 名、中学生 2 名、高校生 18 名、専門・大学生 4 名、社会人 4 名)

(7) 地域食堂等(ちとせ学習チャレンジ塾応援食事会)の支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

3. 福祉の心の育成と福祉の授業を支援する人材の養成

(8) 児童生徒のボランティア体験学習支援事業

ア. ボランティア体験学習授業の実施協力

ボランティア体験学習事業を計画する小学校、中学校に対して、体験学習の内容の提案、講師の

調整及び福祉用具の貸し出し等の支援を行いました。

①実施校 10校(小学校:7校、中学校:2校、高等学校:1校)

②実施回数 21回(延べ)

③時間数及び参加人数 52時間、1,404名(延べ)

④授業内容

授業内容	実施校名	実施回数 (延べ)	講師	時間 (計)	参加人数 (生徒)
視覚障がい者ガイドヘルプ体験	[小学校]千歳第二、祝梅、泉沢 [中学校]富丘	4	千歳視覚障害者福祉協会	13	196
サウンドテーブルテニス体験	[小学校]末広、祝梅、信濃	3	千歳視覚障害者福祉協会	9	166
車いす乗車・介助体験	[小学校]千歳第二、祝梅、末広、向陽台、泉沢 [中学]青葉	6	濁沼 勇氏 千歳リハビリテーション大学 ちとせの介護医療連携の会 わかばの会	12	338
認知症サポーター養成講座	[小学校]北陽 [中学校]富丘 [高校]北陽	3	千歳市介護予防センター 認知症キャラバンメイト	8	343
福祉講話	[小学校]千歳第二、祝梅 [中学校]富丘	4	ちとせの介護医療連携の会 わかばの会 千歳視覚障害者福祉協会	6	307
要約筆記体験	[中学校]富丘	1	千歳要約筆記の会 「やませみ」	4	54

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、手話体験、点字体験、高齢者疑似体験、車いすサッカー体験、ボッチャ体験は中止となりました。

イ. 児童・生徒のボランティア体験学習支援事業

ボランティア体験学習事業を実施する学校3校より申請があり、助成金の支給を行い支援しました。

	学校名	助成額(円)
小学校(2校)	泉沢小学校	10,000
中学校(1校)	向陽台小学校	5,000
助成額合計:20,000円	青葉中学校	5,000

ウ. 全道福祉の学習推進セミナー(オンライン)

と き 令和3年2月28日

内 容 「コロナ禍における福祉の学び、つながりづくりの実践」

出席者 5名(福祉の授業講師4名、事務局1名)

(9) 福祉の授業支援ボランティア養成講座事業

と き 令和3年2月4日、2月5日(2日間)

会 場 千歳市総合福祉センター、千歳第二小学校

内 容 車いす乗車・介助体験、福祉の授業支援

講 師 北海道千歳リハビリテーション大学 教授 佐々木 努 様

受講者 13名

(10) 福祉の授業支援講師養成講座事業

と き 令和3年2月8日

会 場 千歳市社会福祉協議会 会議室2.3

内 容 「子どもの可能性を引き出す障がい者スポーツ」

講 師 北海道新聞パラスポーツアドバイザー 永瀬 充 氏

(バンクーバーパラリンピック アイススレッジホッケー銀メダリスト)

受講者 13名

基本目標2 地域での支え合いと、きずなづくり

1 身近な地域における支え合い活動の推進

(11) 福祉委員活動推進事業 拡充

ア. 新任福祉委員研修会

ちとせ市民ふくし講座にて今年度新たに委嘱した新任福祉委員を対象に、その役割や活動について理解する研修会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

イ. 福祉委員活動リーフレットの配付

新任福祉委員及び福祉委員活動未実施地区に配付し福祉委員活動の啓発を図りました。

ウ. 福祉委員共通名札の配付

新任福祉委員に福祉委員共通名札を配付し、活動時に着用することで住民へ福祉委員の周知を図りました。

エ. 個人宅を訪問する際の感染症対策と注意点のチラシ作成と配付

全町内会に新型コロナウイルス感染症対策として、訪問する際の注意点を記載したチラシを配付し、安心して活動いただけるよう側面から支援しました。

オ. 福祉委員設置の推移

年度	令和元年度	令和2年度
設置町内会数	107	109
福祉委員数(人)	873	868
新規設置地区(町内会)	1	2
廃止地区(町内会)	1	-

(12) 小地域福祉ネットワーク活動推進事業

福祉委員を配置し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的とする「小地域福祉ネットワーク活動」に取り組む町内会へ助成金を交付しました。

① 実地地区 83 町内（自治）会

② 助成金総額 3,769,000 円

③ 実施地区及び助成額の推移

	令和元年度	令和２年度
町内会数（件）	83	83
助成金額（千円）	3,769	3,766

(13) 救急カード事業

救急カードの利用について、適切な記載・設置の普及を図り、緊急時に確実に利用できるよう医療機関、消防本部等と共同制作した改訂版カードを随時配布しました。

ア. 実施状況

① 実施町内会推移

年度	令和元年度	令和２年度
町内会数	134	134
普及率	91.8%	91.8%

イ. 救急カードの使用状況

① 使用件数及び搬送種類

年 度	令和元年度	令和２年度
使用件数	13	8
使用町内会数	10	7
搬送種類	急病 12件 一般負傷 1件	急病 6件 一般負傷 2件

② 救急カードの取扱方法

取扱方法	医療機関へ引継	本人・家族へ返却	その他
件数	7	1	0

ウ. 普及・啓発

救急カードの設置確認や記載内容の更新に係る呼びかけ事例等を掲載したリーフレットを配付し情報共有と普及啓発を図りました。また、新型コロナウイルスワクチン予防接種済情報の追加更新を呼びかけるリーフレットを作成し配布しました。

エ. 救急カード様式（改訂版）の配付

配付町内会 146 町内会

配付枚数 784 枚

2 地域福祉に関わる機関及び団体との協働・民間と連携した地域福祉の推進

(14) 障がい者及び障がい児福祉活動助成金の交付事業

障がい者及び障がい児を含む当事者団体に対し、団体の組織強化と活動支援を目的に活動費を助成しました。（10 団体：772,000 円）

(15) 千歳SOSネットワーク事業

認知症や障がいのある方の行方不明による最悪な事態を防ぐために、早期に発見・保護するネットワークの推進に努めたほか、ネットワークの協力体制を強化するために、千歳認知症の人を支える家族の会「はまなすの会」及び千歳市認知症地域支援推進員の協力のもと、市民や協力事業者等が行方不明者を発見した際の対応例を紹介する動画及び対応ハンドブックを作成し、広報・周知に努めました。

また、民間企業や福祉施設等との協働による見守りや支え合い活動をより充実させるため未登録企業等に事業の協力を呼びかけ、14 団体（企業）より新規で登録をいただきました。

ア. 千歳地域搜索ネットワーク運用状況

①対応方法別

平日日中	夜間及び休日	合計
3 件	6 件	9 件

② 発見状況別

(件)

年度	期 間	件数	発見者					本人自力 帰宅	未発見
			警察官	家族	関係者	地域	運営協議会		
H20 ～ R1	H20 年 7 月 ～R2 年 3 月	119 (*17)	48 (2)	7	1 (1)	27 (5)	4	26	6
R2	R2 年 4 月 ～R3 年 3 月	9 (*2)	4	2	1	2	0	0	0
合 計		128	52	9	2	29	4	26	6

*関係者：介護事業所・ケアマネージャー・包括支援センター職員・病院・消防

地 域：近隣住民・通行人・コンビニエンスストア・ガソリンスタンド等

() の数字は、死亡した状態で発見された件数を示す。

(*) の数字は、あんしん登録制度（事前登録制度）に登録された方の発信件数を示す。

イ. 運営協議会委員の状況

種 別	企業	福祉関係機関	医療機関	福祉関係団体等	行政機関	合計
運営協議会委員	75	62	6	7	4	154

ウ. 運営協議会委員数の推移

年 度	令和元年度	令和2年度
委員（団体）数	149	154

①新規登録：14 団体

②登録解除： 9 団体（解除理由～事業所の閉鎖、メール及び FAX 機の解約等）

③夜間及び休日の協力団体数 39 団体

エ. 役員会

と き 令和 2 年 6 月 22 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

出席者 役員 13 名

内 容 令和元年度事業報告、令和 2 年度事業計画

オ. 運営協議会

と き 令和 2 年 7 月 22 日（書面会議）

出席者 138 名（138 団体）より書面審議同意書の提出あり

※登録委員 152 名（152 団体）

内 容 令和元年度事業報告、令和 2 年度事業計画

カ. 研修会及び行方不明高齢者等搜索模擬訓練

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止しました。

キ. 夜間及び休日における行方不明高齢者等の搜索

・夜間及び休日の協力団体数 39 団体

・夜間及び休日のネットワーク発動状況 6 件（全体の約 67%）

ク. 事前登録制度の推進

行方不明の早期発見を目的に、本人情報を事前に登録する制度の普及を図り、緊急時の備えとしました。

・令和 2 年度新規登録者数 29 名（総登録者数 261 名）※前年度新規登録者：44 名

ケ. 広報・啓発 新規

道に迷っている高齢者や障がい者等に遭遇した際に安心して声をかけられることを目的に、千歳認知症の人を支える家族の会「はまなすの会」及び千歳市認知症地域支援推進員と作成した「行方不明者を発見した際の対応例を紹介する動画」を本会ホームページで公開し、事業の周知を行いました。また、千歳市認知症地域支援推進員の協力により「道で迷っている高齢者等に係る対応ハンドブック」を作成し、本会ホームページでの公開や協力事業者への配付により、事業への協力を呼びかけました。

(16) 千歳地域見守りネットワーク事業

高齢者等の見守りを強化するため、新聞販売、郵便等の配達業務を行う事業者等との連携によるネットワークを構築し、ゆるやかな見守りによる安否確認と安否確認を通じた早期の問題発見対応に努めました。

また、民間企業や福祉施設等との協働による見守りや支え合い活動をより充実させるため未登録企業等に事業の協力を呼びかけ、11 団体（企業）より新規で登録をいただきました。

ア. 協力事業者の状況（前年度比 7 事業者増）

	企業	福祉関係機関	医療機関	福祉関係団体等	行政機関	合計
協力事業者	33	38	5	11	4	91

新規登録：11 か所

登録解除：4 か所（解除理由～事業所の閉鎖、メール及びFAX機の解約等）

イ. 事前登録制度の推進 総登録数 12 名

ウ. 通報件数 2 件（通報内訳：協力事業者 1 件、小売店 1 件）※ 2 件とも無事を確認

エ. 広報・啓発

地域見守りネットワーク活動の手引きを、必要に応じて運営協議会委員や町内会、民生委員児童委員へ配付し、事業の周知・啓発及び協力事業者の拡充に努めました。

オ. 役員会、運営協議会 「(8)千歳地域 SOS ネットワーク事業の推進」に同じ

(17) 社会福祉法人ネットワーク懇話会事業 重点

市内の社会福祉法人が連携して地域公益活動の取り組みを進めました。

《社会福祉法人ネットワーク懇談会・千歳構成団体》

千歳洋翔会、千歳いずみ学園、恵愛会、千歳福祉会、千歳社会福祉協会、晃裕会、千歳市社会福祉協議会（7 法人）

ア. 地域福祉権利擁護体制構築に向けた法人・施設による福祉サービス利用援助事業（2 法人）

イ. 認知症等の行方不明捜索に協力する千歳地域 SOS ネットワーク事業への協力（6 法人）

ウ. 社会福祉法人ネットワーク懇話会・千歳（中止）

エ. 社会福祉法人利用・活用サポートガイドの活用

社会福祉法人が持っている人材や設備などを市民に提供して地域の福祉活動等に利用・活用してもらうことを目的に、「市内社会福祉法人利用・活用サポートガイド」を活用し、地域公益活動の「見える化・見える化」に取り組みました。

参加法人：4 法人

協力内容：地域講師派遣、備品貸出、広報協力

利用件数：5 件（備品貸出）

(18) 福祉バス運行事業（市受託事業）

項目	申込件数		宿泊件数		稼働件数		利用人員		年間走行距離数km	
	1号車	2号車	1号車	2号車	1号車	2号車	1号車	2号車	1号車	2号車
市関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社協関係	2	0	0	0	2	0	56	0	142	0
老人クラブ	3	0	1	0	4	0	51	0	328	0
福祉団体	8	2	0	0	8	2	152	21	858	84
町内会	3	0	0	0	3	0	50	0	295	0
その他	4	0	0	0	4	0	156	0	250	0
小 計	20	2	1	0	21	2	465	21	1,873	84
合 計	22		1		23		486		1,957	
（前年比）	（－166）		（－20）		（－186）		（－3,930）		（－27,911）	

※ 1号車（大型車）50 人乗り、2号車（リフト付きマイクロバス）19 人乗り

基本目標3 いつでも、気軽に、誰でも通える地域の居場所づくり

1 多様な人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながる、新たな居場所づくり・活躍の場の創出

(19) 生活支援体制整備事業（市受託事業）

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくため地域における、生活支援等の体制整備に向けた調整役として第1層（市区域）及び第2層（日常生活圏域）生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、多様な主体間での連携・協働による取り組みを進めました。また、地域の新たな居場所づくりとして、買い物や散歩のついでに気軽に立ち寄り、介護予防の取り組みや健康相談が行える地域交流の場づくりを進めました。

①生活支援体制整備事業「ちょこっと茶屋」開催

と き 令和2年4月～7月（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、8月6日、9月3日、10月1日、11月5日、12月3日、令和3年1月7日、2月4日、3月4日（8回）

会 場 コープさっぽろパセオすみよし店

出席者 59名（延べ人数）

内 容 握力測定、健康相談その他、脳トレクイズ・健康に関する資料等配

②生活支援体制整備事業「ちょこっと茶屋」開催【新規※向陽台圏域】

と き 令和2年8月21日、9月18日、10月16日（3回）

会 場 コープさっぽろ向陽台店

出席者 42名（延べ人数）

内 容 握力測定、健康相談その他、脳トレクイズ・健康に関する資料等配布

③生活支援体制整備事業「いぶすき茶屋」開催

と き 令和2年4月～6月（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）、7月22日、8月12日、9月9日、10月14日、11月25日、12月23日、令和3年1月27日、2月24日、3月24日（9回）

会 場 指宿公園パークゴルフ場（7月～10月）/ラッキー千歳錦町店（11月～3月）

出席者 110名（延べ人数）

内 容 握力測定、健康相談その他、介護予防に関するお外で百歳体操等

④生活支援体制整備事業「きずな茶屋」開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑤生活支援体制整備事業「げんき茶屋」開催 新規

と き 令和3年3月15日、3月25日

会 場 ちとせモール（3/15）/ツルハドラッグ千歳長都店（3/25）

出席者 100名（延べ人数）

内 容 ツルハドラッグ千歳長都店管理栄養士による栄養素相談、健康料理レシピと介護予防に関する資料の配付活動等

⑥生活支援体制整備事業「大人の折り紙サロン」開催

と き 令和2年4月、5月、令和3年3月（新型コロナウイルス感染拡大の為に中止）6

月 26 日、7 月 31 日、8 月 24 日、9 月 24 日、10 月 23 日、11 月 26 日、
12 月 18 日、令和 3 年 1 月 29 日、2 月 19 日（9 回）

会 場 千歳市社会福祉協議会

出席者 167 名(延べ)

内 容 介護予防とボランティア活動への参加を目的とした折り紙サロンを開設し、完
成品を市内の子育て支援施設に寄贈

⑦生活支援体制整備事業「かんたん大人の切り絵サロン」開催 新規

と き 令和 2 年 7 月 20 日、8 月 17 日、9 月 14 日、10 月 19 日、11 月 16 日、12
月 21 日、令和 3 年 1 月 18 日、2 月 15 日（中止）、3 月 22 日（中止）

会 場 千歳市社会福祉協議会

出席者 113 名(延べ)

内 容 介護予防を目的として切り絵サロンを開設し、完成品をちとせ切り絵ランタン
コレクションやミナクルでの作品展などで発表

⑧ちとせ切り絵ランタンコレクション開催 新規

と き 令和 2 年 9 月 1 日、9 月 2 日、9 月 3 日

会 場 千歳市社会福祉協議会 事務所庭

出席者 168 作品展示

内 容 紙袋に切り絵と医療従事者への感謝やコロナ禍に送る励ましのメッセージなど
施した紙袋ランタンを灯し、紙袋切ランタンを通し、心にも明るい気持ちを灯し
頑張ろう！のメッセージをおくりあう作品展示イベント

⑨地域サロン実践発表会開催（介護の日フェア共催）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

⑩通いの場・生活支援等サービスガイドブック掲載情報の更新

通いの場(サロン、老人クラブ等)：105件、生活支援等サービス：47 件、医療・介護施
設：19件（前年比通いの場8か所増加、生活支援サービス1件増加）

⑪通いの場・生活支援等サービスガイドマップ【おさんぽなび】の配布

市役所窓口や公共施設等に設置し、おさんぽなびの普及・啓発を図りました。

⑫コロナ禍での活動事例集～ヒントブック～の作成と配布 新規

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの町内会にて活動自粛を余儀なくされ
ている中でも、コロナ禍においてつながりを絶やさないために、さまざまな地域で活動を継
続していることから、コロナ禍での地域活動を掲載した事例集を作成し配付いたしました。

・配付数：230 冊(市町連 1 冊、町内会 146 冊、小地域福祉ネットワーク活動実施町内会
担当者 83 冊)

⑬事業周知

- ・生活情報誌「ちゃんと」に生活支援コーディネーター活動記事掲載の掲載(毎月)
- ・「今日から」地域支え合い情報で生活支援コーディネーターNEWS 掲載（毎月）
- ・広報ちとせ（10 月号）表紙：切り絵ランタンコレクション
- ・生活情報誌「ちゃんと」

ちとせで de コレクション（5 月 8 日号、5 月 22 日号）

折り紙ボランティア活動にご協力ください（6 月 5 日号）

切り絵ランタンコレクション(8月28日号)

切り絵で介護予防サロン(8月28日号)

生活支援コーディネーターが身近な地域の居場所づくりをお手伝いします
(9月11日号)

切り絵ランタンコレクション(9月18日号)

生活支援コーディネーターが身近な地域の居場所づくりをお手伝いします
(9月11日号)

介護医療の現場からシニアライフサポート(12月18日号)

切り絵ランタンコーナーがオープン(1月8日号)

楽しみながらボランティア 園児に折り紙プレゼント(1月8日号)

千歳で広げようシトラスリボンプロジェクト(1月22日号)

げんき茶屋初開催(3月26日号)

・北海道新聞

切り絵ランタンコレクション(12月22日号)

⑭「生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター」専用サイトの運用

生活支援コーディネーターが取材した地域づくり情報を@レポートとして掲載したほか、事業紹介、事業紹介動画を公開し情報発信を図りました。

・レポート数：65回

⑮ネットワークの構築

第2層協議体(日常生活圏域別サロンマップ作成委員会)による関係者間の助け合いの地域づくりに向けた情報交換、情報共有は新型コロナ感染拡大防止のため中止しました。

⑯外部研修・会議等の参加

・市内開催

開催日	主催	内容	参加人数
令和2年6月15日 、7月6日、8月6日、 9月10日、10月16日 、11月9日、令和3年 2月12日、3月17日	千歳市教育委員会 (生涯学習課)	みんなで、ひと・まちづくり委員会	延べ 8人
令和2年6月11日	コープさっぽろ	ちょこっと茶屋(パセオすみよし 店・向陽台店)開催に係る生協・千 歳市・社協との打合せ	4
令和2年7月10日	若草町内会	若草町内会福祉委員会に出席(ヤ マセミねっとについて説明)	2
令和2年10月9日	あったかネット向陽台	障がいと介護をつなぐ情報交換会	1
令和2年11月11日	第10地区民生委員児童 委員協議会	例会出席(ヤマセミねっと及び除 雪サービス事業について説明)	2

・ 市外開催

開催日	主催	内容	参加人数
令和2年8月25日～8月26日	NPO法人北海道NPOサポートセンター	生活支援コーディネーター養成研修【基礎編】（札幌会場）	1
令和2年9月7日～9月8日	北海道社会福祉協議会	コミュニティソーシャルワーク（CSW）実践者養成研修（札幌会場）	2
令和2年10月22日	NPO法人北海道NPOサポートセンター	生活支援コーディネーター養成研修【応用編】（函館会場）	2
令和2年11月30日	公益財団法人さわやか福祉財団	令和2年度オンラインによる生活支援コーディネーター情報交換会	2
令和2年12月14日	北海道社会福祉協議会	生活支援コーディネーター連絡会議（オンライン）	2
令和3年1月28日	NPO法人北海道NPOサポートセンター	生活支援コーディネーター養成研修【応用編】（札幌会場：オンライン）	2
令和3年2月1日	北海道社会福祉協議会	地域共生社会推進研究協議会（オンライン）	3
令和3年2月3日	藤田医科大学人材教育支援センター、NTTデータ経営研究所	地域づくり人材育成プログラム報告会（オンライン）	2
令和3年2月15日	公益財団法人さわやか福祉財団北海道ブロック	石狩管内生活支援コーディネーター情報交換会（オンライン）	4
令和3年2月25日	北海道社会福祉協議会	石狩地区地域に理解され指示される社協づくり研修（オンライン）	1

⑰視察研修

と き 令和2年9月4日

会 場 カレンデュラ（白老町石山45番地3）

出席者 生活支援コーディネーター3名

内 容 地域情報発信サイト『しらおいナビ』運営視察。サイト運営者大江とも子氏による魅力的なサイト作りに関する講習

⑱ちとせ市民ふくし講座【地域づくり編】の開催は、25ページに記載

(20) きずなポイント事業（市受託事業）

高齢者がボランティア活動を通して自身の介護予防につなげるとともに、地域の支え合いに参加することを目的とする「きずなポイント事業」を市から受託し、実施機関としての役割を担い実施しました。

ア. 実施状況

1.ボランティア登録講習会	3回（5月、7月、9月）
2.ボランティアの登録状況 登録者数(うちボランティアセンター新規登録) <内訳> ・男女比 ・最高齢 ・平均年齢	231名（内18名） 男性84名・女性151名 89歳（男性） 74.3歳
3.実活動者数（平均）	74.7名
4.受入施設等 ・高齢者支援施設 ・子育て支援施設 ・介護予防事業 ・その他施設	34施設 19施設 10か所（コミセン） 2施設
5.ボランティアの活動内容	10種類／139件
①囲碁・将棋などの趣味活動の相手(16件) ②入所者・利用者の話し相手(19件) ③入居者・利用者に対する芸能等の披露(12件) ④レクレーション補助(15件) ⑤食事介助の補助(13件) ⑥散歩の付添い(0件) ⑦保育の補助(1件) ⑧施設行事の手伝い(13件) ⑨施設内外環境整備(19件) ⑩その他(31件)	
6.その他の管理業務	
①ボランティア保険の加入手続き ②ボランティア手帳の作成及び交付 ③登録及び更新 ④受入施設等の登録受付 ⑤受入施設等とボランティア調整ポイントの付与 ⑥換金（寄付）申請受付	

イ. きずなポイント事業ボランティア登録講習会

ボランティア講話や事業概要の説明等、事業に登録して活動するための必須講習会及び登録者の交流を目的とした交流事業を開催しました。

①ボランティア登録講習会／受講者計40名（前年度比 8名増）

	第1回	第2回	第3回
日 時	5月11日	7月11日	9月5日
会 場	千歳市社会福祉協議会 会議室 2.3		
受講者	16名(うち登録9名)	13名(うち登録9名)	11名(うち登録5名)
講 師	笑華尊塾塾長 塩谷隆治氏		

・内 容 ※全日程共通

講演：「まちづくりとボランティア～支え合いの地域を目指して～」

②登録ボランティアサロン / 参加者計 101 名（前年度比 37 名減）

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
と き	6 月 7 日	9 月 7 日	11 月 16 日	2 月 8 日
参加者	37 名	中止	28 名	36 名
内 容	①講話 笑顔 で暮らすコツ 「病気も防げ る笑顔の作り 方①」 講師 吉 裕 子氏（一般社団 法人マインド デザイン協会） ②脳トレーニ ング体験（各自 希望の体験に 参加） 健康マージヤ ン、折り紙、五 目並べ、UNO、 囲碁		①講話 笑顔 で暮らすコツ 「病気も防げ る笑顔の作り 方②」 講師 菅野ゆ かり氏（一般社 団法人マイン ドデザイン協 会代表理事） ②脳トレーニ ング体験（各自 希望の体験に 参加） 健康マージヤ ン、折り紙、ふ まねっと、オセ ロ	①講話 笑顔 で暮らすコツ 「病気も防げ る笑顔の作り 方③」 講師 菅野ゆ かり氏（一般社 団法人マイン ドデザイン協 会代表理事） ②脳トレーニ ング体験（各自 希望の体験に 参加） 健康マージヤ ン、折り紙、ふ まねっと、囲 碁、けん玉

・会 場 千歳市社会福祉協議会会議室 *全日程共通

(21) 介護予防センター運営事業（市受託事業）

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも元気で自分らしい生活を送ることができるよう、地域に出向いて介護予防教室や出前講座等を開催しました。また、介護予防リーダーを育成し、「サービスの受け手」であった高齢者が「サービスの担い手」となる町内会等单位での「介護予防サロン事業」の取り組みを推進しました。

介護予防普及啓発事業

上段：令和 2 年度、下段：令和元年度

①介護予防教室

名 称	内 容	開催回数	参加人数
介護予防教室	「いきいき百歳体操」をベースに、「かみかみ百歳体操」、「ノルディックウォーキング」等のプログラムを複合的に実施 ※R2 年 3 月～5 月まで、32 回中止としている	96 回	1,403 名
		108 回	2,235 名

②ノルディックウォーキング講習会

テーマ	内 容	開催回数	参加人数
ノルディックウォーキング講習会基礎コース	ノルディックウォーキングの基礎から行う講習会※新型コロナウイルス感染症により1回中止	1回	9名
		2回	29名
ノルディックウォーキング講習会体カアップコース	ノルディックウォーキングの効果効用を実感できるよう、全8回継続して実施する講習会※新型コロナウイルス感染症により連続8回コースを中止し、2会場で各1回開催に変更	2会場	19名
		3会場	161名

③ノルディックウォーキングポール貸出し

名 称	内 容	延貸出数	返却数	現貸出数
ノルディックポール貸出し	40歳以上の市民に貸出しを行うことで介護予防の推進を図る	571組	133組	435組
	※新型コロナウイルス感染症により、貸出期間を延長したため、更新に伴う返却者数減	772組	337組	435組

④出前講座

名 称	内 容	開催回数	参加人数
認知症予防	認知症の正しい理解、認知症の人や家族を周囲が支えることの必要性、認知症にならないための生活習慣等の講話	1回	9人
		9回	152人
体験「いきいき百歳体操」	体操の効果の説明した後、実際に重りを付けて体験	-	-
		3回	61人
「介護予防について」	現在の千歳市や全国の高齢化の状況を説明し、介護予防の考え方や取組みを伝える講座	4回	71人
		6回	133人

⑤その他の活動

事業名	内 容	実施回数	参加人数
地域リハビリテーション活動支援事業	リハビリテーション専門職が自立支援の視点から助言・指導を行う	27件	150人
		27件	154人

⑥介護予防サロン事業

実施町内会	内 容	実施回数 (巡回)	延参加人数
50町内会	サロン事業の開始日、定期的な力測定等、介護予防サロン事業の実施への支援	968(36)回	11,296人
48町内会		2,191(124)回	29,423人

⑦ 「いきいき百歳」体操交流会

事業名	内 容	実施回数	参加人数
「いきいき百歳体操」交流会	新型コロナウイルス感染症により、従来の様に積極的な交流が行えないことから、代替え事業として、「ちとせ de コレクション～コロナごもりのススめ」を開催。※29 ページに詳細掲載 外出自粛期間中に自宅で取組める活動の作品展として開催した。	1 回 (4 日間)	延 312 名
		1 回	70 名

⑧ コロナ禍における介護予防普及啓発事業 新規

新型コロナウイルス感染症による外出自粛期間の影響で、介護予防教室や介護予防サロン事業が中止となったことや生活不活発による市民の健康状態悪化が懸念されたことから、啓発リーフレットや体操などの動画作成、周知を行いました。

(ア)生活不活発予防周知リーフレット「からだを守ろう！今できること」

3 種類のリーフレットを各 1,000 部作成し、市内公共施設、郵便局、コンビニエンスストア等に設置しました。

(イ)「これからの集まりのための虎の巻」

感染症対策や集まりを開催する際の注意点をまとめた冊子を作成しました。

配布数：600 冊（介護予防サロン、老人クラブ、文化団体連絡協議会加盟団体等）

(ウ)動画の作成

「おそとで百歳体操」、「ラジオで百歳体操」、「脳トレ」、「認知症ミニ講座①～④」等を作成し、ホームページ、YouTube で公開するとともに DVD を希望する市民へ配付しました。

YouTube 視聴回数：合計 1,557 回

DVD 配布枚数：300 組

介護予防ボランティア育成事業

名 称	内 容	開催回数	受講修了者
介護予防リーダー養成講座	いきいき百歳体操をはじめ高齢者による多様な介護予防活動を推進する人材の養成講座	1 回	15 名
		3 回	24 名
介護予防リーダーフォローアップ講座	介護予防リーダー養成講座修了者を対象とした実技指導等の講座 ※R 元年度は新型コロナウイルス感染症の為に中止、R2 年度は新型コロナウイルス感染症についての小規模の講演会を開催	2 回	延 34 名
		—	—

すこやかボランティア募集	介護予防教室や講演会を手伝っていただくボランティアの募集	随時募集／45名登録 延べ活動 388 名	
		随時募集／47名登録 延べ活動 556 名	
認知症サポーター養成講座	キャラバン・メイトによる認知症についての理解を深めるための講座 ※出前講座での実施と合算	3 回	357 人
		9 回	432 人
認知症サポーターフォローアップ	認知症サポーター養成講座を受講した市民を対象に、『応援者』から『支援者』へをコンセプトに全4日間日程で実施 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症により中止	—	—
		1 回	延受講者数 40 名
キャラバンメイト連絡会	市内のキャラバンメイト相互の交流や情報交換	1 回	8 名
		1 回	10 名

「介護の日」イベントの実施

名 称	内 容	参加人数
介護の日講演会	介護や介護者（家族・従事者）についての理解を深め、地域における介護予防の普及啓発と地域で要介護者等を支えていく意識を涵養するための講演会を行う。 ※新型コロナウイルス感染症により中止	—

○ちとせ de コレクション開催 新規

と き 令和2年7月1日、7月2日、7月3日 11:00～16:00
7月4日 11:00～13:00

会 場 千歳市民ギャラリー 展示室Ⅰ

出展者 67 名（出展数：約 200 点）

来場者 7月1日：60 名、7月2日：79 名、7月3日：80 名、7月4日：93 名
4 日間延べ 312 名

内 容 新型コロナウイルス感染症に係る外出自粛期間に市民が作成したものの作品展として、完成・未完成、ジャンルを問わずに作品募集を行い、手芸、木工、書道、写真、プラモデルなど様々な作品の応募がありました。その他、感染リスクの低い体操「おそとで百歳体操」の紹介、切り絵ランタン作成体験（生活支援コーディネーター協力）を実施しました。

（令和3年度以降は、活動量が低下する冬期間に作成したものを募集し春に作品展を継続して行う予定です）

基本目標4 満足度の高い福祉サービスづくり

1 一人ひとりにあった在宅生活を送るための福祉サービスの提供

(22) 福祉機器の貸し出し事業

福祉機器を必要としていながらも公的給付・貸与の対象とならない、又は公的給付を受けるまでに時間を要する方を対象に、家庭で不要になった福祉機器をリサイクルして貸出しを行い、在宅介護の軽減を図りました。

ア. 貸出・寄贈実績

品 目	貸出件数	貸出台数	寄贈受入台数
1. 車 い す	218	291	5
2. 介護ベッド	38	38	3
3. ポータブルトイレ	33	34	3
4. 歩 行 器	38	37	1
5. そ の 他	24	24	7

イ. 車いす点検整備

例年実施いただいている企業ボランティアの皆さんによる点検整備は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

(23) 声掛け訪問サービス事業（安否確認）

一人暮らしの高齢者又は高齢者世帯の方を対象に、訪問活動員の定期訪問による安否の確認、生活相談を行いました。また、対象者の身体状況の悪化が見込まれる場合は、介護サービスの情報を提供、関係機関に連絡するなど、在宅生活が継続できるよう適切な支援に努めました。今年度は千歳市地域包括支援センターからの依頼により対象者及び訪問件数が増加しています。

- ・対象世帯数 8 世帯
- ・訪問件数 85 件

(24) ホームヘルプ・大掃除サービス事業

介護保険のサービスでは対応が難しい通院などの外出時の同行介助の支援や、換気扇、コンロ周辺などの台所回り、外構の整備などの大掃除を行い、衛生面に留意した清潔で快適な在宅生活が送れるよう支援を行いました。

介護保険において定められた時間を超過し、なお支援が必要な方などに対し支援を行うなど利用者ニーズに即した安価なホームヘルプサービスを提供しました。

利用実績は、新型コロナウイルス感染症流行の影響から、実績が減少しています。

（ホームヘルプサービス）

- ・実利用者人数 41 名 （前年度比：△1 名）

・延提供時間 445.25 時間 (前年度比△73時間)

・活動回数 【単位：回】

家事援助					身体介護		計
調理	洗濯	買物	掃除	他	付添	入浴等	
1	0	14	119	19	107	43	303

(大掃除サービス)

・利用者人数 6名

・延利用時間 14.25 時間 (前年度比：16.75 時間の減)

・活動回数 6回

(25) 布団丸洗いサービス事業

日常において洗濯することが難しい寝具を清潔に保ち、快適な生活を過ごしていただくことを目的に、3枚一組による布団クリーニングを実施しました。

なお、ふとんの洗濯業務は業者に外注しています。

・実利用者人数 25名 (前年度比：1名減)

・延利用件数 31件 (前年度比：1件減)

(26) 日帰り旅行サービス事業

身体状況などから外出する機会が少ない方などの高齢者を対象に、参加者同士の交流や社会参加による充実した在宅生活の継続を目的として行う日帰り旅行につきましては、新型コロナウイルス感染症流行の影響から、年2回の実施を見送っています。

(27) 高齢者調理教室

調理経験がない男性高齢者、栄養の知識を学びたい女性高齢者、他者との交流を目的とした方などを対象に、適切な栄養の摂取と楽しい調理をテーマとした手軽なメニューによる調理教室を実施しました。

今年度は、参加定員を減らし調理室の密を避けるなど、新型コロナウイルス感染予防対策に留意した調理教室を実施しました。

・実施回数 2回

・参加者人数 17名 (前年度比：28名減)

(28) 福祉・介護ニーズの調査事業

本会在宅サービスの利用者アンケートを継続して行い利用者ニーズの把握とサービス内容の改善に努めました。

また、市内介護保険事業所を対象とした新型コロナウイルス対策に関するアンケート調査を行い、集計結果を事業所に周知することで市内事業所の感染症対策向上に努めました。

(29) 除雪支援サービス事業（市受託事業）

町内会が取り組む小地域福祉ネットワーク活動推進事業特別指定事業の実施地区を中心に千歳市シルバー人材センター、企業のボランティア等の協力を得て高齢者世帯及び障がい者世帯の除雪支援サービスに取り組みました。

ア. 除雪サービス実施状況

対象世帯等 支援方法	登録世帯（世帯数）				支援 実施 世帯	派遣回数 （延べ回数）	支援者数（人）	
	①	②	③	④			実人数	延人数
町内（自治）会除雪支援活動	351	100	24	4	479	6,321	522	7,154
千歳市シルバー人材センター	86	23	2	3	36	217	-	-
企業ボランティア	3	-	-	-	1	2	-	-
合 計	440	123	26	7	516	6,540	522	7,154

※・登録世帯：①一人暮らし高齢者世帯 ②高齢者世帯 ③障がい者世帯

④その他の世帯

・町内（自治）会除雪支援活動実施地区 73 町内会（前年度 1 町内会増）

・企業ボランティア等：千歳市環境整備事業協同組合に加盟する組合員

イ. 登録世帯及び除雪支援活動実施地区数の推移

年度	令和元年度	令和2年度
登録世帯数（世帯）	622	596
実施地区数（町内会）	72	73

(30) 点字図書室運営事業（市受託事業）

視覚に障がいのある方への情報源として点訳図書及び音訳図書を提供するとともに、それらの図書を製作する点訳・音訳ボランティアの人材育成に取り組みました。

ア. 利用登録者の現況

登録者数(全視情協加入団体・公共図書館含む)

・個人会員 194 名 (前年度比 +2 名)

・施設会員 432 施設 (前年度比 +34 施設)

登録者合計：626 名・施設

イ. 蔵書数

	点字図書		点訳絵本		音訳図書 (テープ)		音訳図書 (デイジー)	
	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
総蔵書数	923	4,947	992	992	399	2,330	8,631	8,636
内自館製作	923	4,947	992	992	399	2,330	5,738	5,743

ウ. 図書の製作状況

① ボランティア登録者現況

千歳市点訳赤十字奉仕団 団員数 19 名(前年度比 +2 名)

点訳絵本の会 会員数 18 名(前年度比 -1 名)

千歳音訳友の会 会員数 31 名(前年度比 -2 名)

ボランティア登録者計： 68 名

② 点訳図書製作実績

	図書・誌名	タイトル数	巻数	ページ数
図書	単行本	58	334	47,222
	点訳絵本	99	99	2,867
	計	157	433	50,089
公的刊 行物等	広報ちとせ	12	16	1,982
	市民カレンダー	12	12	320
	市議会だより	4	4	448
	今日から、	6	6	282
	計	34	38	3,032
その他 定期刊 行物等	千歳市依頼等	10	13	770
	団体会報等	21	24	756
	プライベートサービス	21	30	2,136
	計	52	67	3,662
合計		243	538	56,783

③ 音訳図書製作実績

	図書・誌名	媒体	タイトル数	巻数	録音時間
図書	単行本	C D	6	6	36 : 28
	計		6	6	36 : 28
公的刊 行物等	広報ちとせ	テープ/C D	12	12	35 : 56
	市民カレンダー	テープ	12	12	4 : 13
	市議会だより	テープ	4	4	7 : 10
	今日から、	テープ	5	5	2 : 45
	計		33	33	49 : 44
その他 定期刊 行物等	身体障害者新聞	テープ	6	6	2 : 43
	ホットライン	C D	11	11	6 : 18
	ニュートン	C D	12	12	70 : 10
	クオリティ	テープ/C D	11	11	98 : 58
	みんなのねがい	テープ/C D	12	12	40 : 35
	ちゃんと	テープ	42	42	26 : 02
	千歳市依頼等	C D	0	0	00 : 00
	団体会報等	C D	0	0	00 : 00
	プライベートサービス	C D	3	3	10 : 16
	計		97	97	255 : 02
合計			136	136	341 : 34

エ. 図書の貸出状況

①点訳図書の貸出状況

	誌名(回)	利用者	件数
自 館 製 作	単行本	個人	0
		施設	15
	点訳絵本	個人	7
		施設	213
	単行本点字データ	個人/施設	3,228
	広報ちとせ(12)	個人	84
	市民カレンダー(12)	個人	84
	市議会だより(4)	個人	24
	今日から、(6)	個人	42
	千歳市依頼等	個人	10
	団体会報等	個人	111
	プライベートサービス	個人	23
	計		3,841
他 館	単行本	個人	203
	点字毎日(51)	個人	102

製作	点字さっぽろ(12)	個人	1
	その他	個人	18
	計		324
合計			4,165

②音訳図書の貸出状況

	誌名(回)	利用者(人)	テープ(件)	C D(件)	
自 館 製 作	単行本	個人	0	236	
		施設	26	706	
	広報ちとせ(12)	個人	0	134	
	市民カレンダー(12)	個人	53	—	
	市議会だより(4)	個人	14	—	
	今日から、(6)	個人	19	—	
	社協だより(6)	個人	36	—	
	身体障害者新聞(12)	個人	11	172	
	ホットライン(12)	個人	—	308	
	ニュートン(12)	個人	—	332	
		施設	12	116	
	クオリティ(12)	個人	—	11	
		施設	—	68	
	みんなのねがい(12)	個人	16	47	
		施設	261	—	
	市民文化情報ひろば(12)	個人	0	0	
	ちゃんと(51)	個人	0	0	
	プライベートサービス	個人	0	7	
	バックナンバー	個人	—	138	
計			448	2,275	
他 館 製 作	単行本	個人	3	2,912	
	厚生(6)	個人	39	63	
	北海道(6)	個人	35	67	
	日視連アワー(12)	個人	75	123	
	道視連新聞(12)	個人	51	108	
	明日への声(6)	個人	—	28	
	週刊現代(44)	個人	—	86	
	週刊朝日(48)	個人	—	307	
	その他定期刊行物	個人	—	140	
	その他雑誌等	個人	—	23	
	計			203	3,857
	合計			651	6,132

③相互貸借（再掲）

	点訳		絵本	音訳テープ		音訳CD	
	図書	雑誌	絵本	図書	雑誌	図書	雑誌
他館への貸出	15	0	213	26	16	706	390
他館から借受	203	121	0	3	200	2,912	945

④貸出件数集計

	点訳		点訳絵本	音訳	
	単行本	雑誌等	絵本	単行本	雑誌等
令和元年度	3,651	599	121	3,212	3,263
令和2年度	3,446	499	220	3,883	2,900
増減	△205	△100	99	671	△363

オ. 研修事業等

①音訳ボランティア養成講習会

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度に延期）

②視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」研修会

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン研修に変更） 欠席

③北海道視覚障害者情報提供施設協議会

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議）

④第50回東北・新潟・北海道ブロック点字図書館等連絡協議会

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議）

⑤全国視覚障害者情報提供施設協会 令和2年度総会・臨時総会

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議）

カ. その他

①点字印刷数 92件 37,131ページ

②レファレンスサービス（図書検索等）

③相談支援サービス（再生機器等の使用に関する問い合わせ等）

④プライベートサービス（点訳・音訳ボランティア団体への製作依頼、職員による点訳等）

⑤点訳・音訳ボランティア活動支援

(31) 意思疎通支援事業（市受託事業）

聴力及び言語障がい者と健聴者との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者または要約筆記を必要とする場合に手話通訳者または要約筆記者を派遣しました。

ア. 手話通訳者派遣事業

①手話通訳者数 12名：専従手話通訳者 2名（増減なし）

登録手話通訳者 10名（増減+1）

②手話通訳派遣件数

	令和元年度	令和２年度	増 減
派遣件数	311	226	-85
実利用者数	71	43	-28

③手話通訳者派遣状況（延べ派遣人数・派遣時間数）

派遣内容・区分	専従通訳者		登録通訳者		合 計		比較 増減
	元年度	２年度	元年度	２年度	元年度	２年度	
1 生命、健康、医療保健関係	10	47	46	31	56	78	22
2 司法関係	-	-	-	-	-	-	-
3 児童等の教育、保育関係	25	34	3	13	28	47	19
4 労働、雇用関係	41	10	18	5	59	15	△44
5 地域、住宅関係	3	7	2	2	5	9	4
6 人間関係	-	-	-	-	-	-	-
7 文化、教養関係	32	4	26	9	58	13	△45
8 社会生活関係	81	61	94	44	175	105	△70
9.手話の普及啓発に関すること	32	-	15	-	47	-	△47
10.その他市長が認めるもの	-	-	-	-	-	-	-
合計派遣件人数（人）	224	163	204	104	428	267	△161
合計派遣時間（h）	451	220	419	193	870	413	△457

④窓口対応数（専従手話通訳者）

窓口対応数	令和元年度	令和２年度	増 減
件 数	192	158	-34

⑤遠隔手話サービス（令和３年２月12日より運用開始）

＊タブレット端末（テレビ電話）による手話通訳サービス（新規）

窓口対応数	令和元年度	令和２年度	増 減
件 数	-	14	14

⑥千歳市手話講座初級課程（全18回）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。

⑦千歳市手話講座中級課程（全23回）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。

⑧千歳市手話講座上級Ⅱ課程（全27回）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度比講座減で開催しました。

と き 令和２年10月6日～令和３年２月27日

（毎週火曜日及び月２回土曜日）

会 場 千歳市社会福祉協議会事務所 会議室
 受講者 11名（修了者8名）※前年度上級Ⅰ修了6名
 内 容 手話通訳者養成講座「手話通訳Ⅱ」テキスト使用

⑨石狩振興局地区専任手話通訳者連絡会議

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全6回のうち4回中止

と き 令和2年7月22日、9月16日
 会 場 管内各市持ち回り（千歳市、石狩市）
 内 容 地域の意思疎通支援事業について、日常業務を通しての意見及び情報交換など

⑩手話通訳者特殊健康診断

と き 令和2年10月1日、10月8日、10月14日、10月15日、10月21日、
 10月28日、令和3年1月6日、2月4日

受診施設 社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協札幌病院

受診者 10名（専従手話通訳者2名、登録手話通訳者8名）

※都合により、登録手話通訳者2名受診辞退

受診結果 A判定（所見軽微）2名、B1判定（経過観察及び要注意）5名
 B2判定（要注意）3名

⑪千歳聴力障害者協会・市・社協の三者懇談会

と き 令和2年7月16日
 会 場 千歳市社会福祉協議会事務所 会議室2・3
 内 容 令和元年度実績報告、令和2年度事業計画、千歳市意思疎通支援事業に対する要望、意見交換

参加者 千歳聴力障害者協会5名、市職員1名、社協職員4名

⑫千歳市登録手話通訳者研修会

回数	と き	会 場	参 加 者				内 容
			登録 通訳者	登録要約 筆記者	聴力 障協	職員 等	
第1回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（実績報告書送付）		-	-	-	-	
第2回	令和2年7月26日	社協事務所会議室 2・3	7	-	6	2	・スキルアップ講座「ウイズコロナの時代～講座の進め方を考える～」
第3回	令和2年9月18日		6	2	-	3	・健康学習会 「頸肩腕症候群予防について」
第4回	令和2年10月12日		5	-	-	2	・聞き取り通訳練習
第5回	令和2年12月14日		5	-	-	2	・ロールプレイ ・事例検討
第6回	令和3年2月19日		4	-	-	2	・要約筆記体験

⑬千歳市登録手話通訳者・登録要約筆記者合同研修会

と き 令和３年１月30日

会 場 千歳市社会福祉協議会 会議室2.3

参加者 手話通訳者４名、要約筆記者７名、事務局３名

内 容 講習会を想定した実技研修

模擬講演 テーマ「職場での聴覚障がい者に対する合理的配慮」

講師：千歳聴力障害者協会 会長 佐藤 義典 氏

⑭第53回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラムinいしかわ～

と き 令和２年８月21日～23日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑮第46回全道ろうあ者相談員・第42回全道専任手話通訳者研修会

と き 令和２年10月14日～15日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑯千歳市通訳者（登録手話通訳者）の推薦審査

と き 令和３年２月28日

会 場 千歳市社会福祉協議会事務所 会議室1.4

内 容 読み取り・聞き取り・面接試験

結 果 受験者辞退により、試験中止

イ．要約筆記者派遣事業

①登録要約筆記者数 ９名（増減－１）

②要約筆記者派遣状況

派 遣 事 項		依頼件数		派遣数（延人数）		派遣時間	
		元年度	２年度	元年度	２年度	元年度	２年度
1	生命、健康、医療保健関係	-	-	-	-	-	-
2	司法関係	-	-	-	-	-	-
3	児童等の教育、保育関係	-	2	3	3	-	3
4	労働、雇用関係	-	-	-	-	-	-
5	地域、住宅関係	-	-	-	-	-	-
6	人間関係	-	-	-	-	-	-
7	文化、教養関係	31	6	82	12	265	29
8	社会生活関係	4	2	11	2	32	3
9	その他市長が認めるもの	-	-	-	-	-	-
10	他、福祉事務所長が認めるもの	-	-	-	-	-	-
合 計		35	10	93	17	297	35

③千歳市登録要約筆記者研修会

回	と き	会 場	出席者	内 容
第1回	新型コロナウイルス感染防止のため中止（実績報告書送付）		-	
第2回	令和2年9月12日	社会福祉協議会 会議室2.3	7	・技術研修「パソコン要約筆記」 ・入門講座について
第3回	令和2年12月11日	社会福祉協議会 会議室2・3	8	・技術研修「ノートテイク・モニター使用」

④要約筆記入門講座（全9回）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座時間数13.5時間減

日曜開催（4時間）→平日（1.5時間）と日曜開催（4時間）の併用に変更

と き 令和2年10月2日～11月15日（18.5時間）

（毎週金曜日及び日曜日）

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室 会議室2・3

受講者 10名（修了者8名）※前年度修了4名

内 容 要約筆記奉仕員養成基礎課程

⑤千歳市通訳者（登録要約筆記者）の募集

募集方法 ・社協ホームページ、広報ちとせ、情報誌ちゃんと等に掲載

・要約筆記入門講座修了者に周知

結 果 応募者なし

(32) ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

安心して子どもを生み、育てることの環境づくりを進めるために、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（提供会員）を会員とし、その派遣調整等を行いました。

①会員状況 入会 126 名／退会 122 名 (名)

	令和元年度	令和2年度	増 減
依頼会員	907	925	18
両方会員	160	153	-7
提供会員	194	189	-5
合 計	1,261	1,267	4

②活動状況（内訳別活動件数） (件)

活 動 内 容	件 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	0
保育所・幼稚園の送り	290
保育所・幼稚園の迎え	181
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	3
学童の放課後の預かり	72
放課後児童クラブの迎え	120

放課後児童クラブ終了後の預かり	0
子供の病気時の援助	3
子供の習い事等の場合の援助	473
保育所・学校等休み時の援助	85
保育所等施設入所前の援助	2
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	107
保護者等の求職活動中の援助	5
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	12
保護者等の外出の場合の援助	93
保護者等の病気、急用等の場合の援助	59
その他	147
合 計	1,652

前年比 685 減

③調整状況

(件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月		
調整件数	11	3	12	10	7	16		
事前打合せ件数	11	2	6	8	7	10		
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	前年比
調整件数	12	22	10	3	4	30	140	-32
事前打合せ件数	12	16	10	2	4	23	111	-35

④春の保育サービス講習会（提供会員を対象とした講習会）

日 時 令和 2 年 5 月 19 日、20 日、21 日、26 日、27 日、6 月 3 日
10:00～15:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました

⑤保育サービス講習会

日 時 令和 2 年 8 月 19 日、20 日、21 日、26 日、27 日、28 日
10:00～15:00

会 場 千歳市社会福祉協議会 会議室 2・3 他

内 容 「保育の心と子どもの世話」「子どもの身体の発育と病気」など 10 講座

出席者 新規会員登録者 5 名、会員移行 2 名、補講者 5 名
こども 3 名、託児者 4 名、サブリーダー 5 名（合計 23 名）

⑥夏の交流会

日 時 令和 2 年 7 月 30 日（木）10:00～12:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました

⑦冬の交流会

日 時 令和 2 年 11 月 25 日（木）10:00～12:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました

⑧子育て応援講演会開催・フォローアップ講習会

日 時 令和2年11月25日(水) 10:00～15:00

場 所 千歳市社会福祉協議会 2階会議室2・3

内 容 「子どもの遊び～手作りおもちゃで楽しもう!～」
「子どもの事故と安全」

講 師 木村 祥子 氏、千歳市消防署救急救命士 小清水 基継 氏

出席者 会員13名、一般1名、こども6名、託児者3名

サブリーダー3名(合計26名)

⑨会員に対する広報紙の発行：4回発行(4月、7月、11月、2月)

⑩周知・啓発活動

- ・周知・啓発先 母子保健課(保健センター)、市内公共施設、商業施設、社協HP
子育て支援センター、市内学童保育、保育施設、新聞社、ちゃんと他
- ・活動内容 概要説明、ポスター掲示、リーフレット配布、記事掲載等
- ・総合支援センターにてファミサポの説明

令和2年7月16日、10月20日、11月9日(新規入会25名)

⑪サブリーダーの選任

各地域においてセンターと地域の会員をつなぐパイプ役として、サブリーダーを5名選任し配置しました。毎月1回、サブリーダーとアドバイザーとの連絡調整会議を行いました。(但し、4月、5月、6月、1月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

⑫各種研修、講習会への参加、視察対応

- ・子育て支援を考える会

令和2年7月28日、10月1日

- ・アドバイザー意見交換会(札幌道庁赤レンガ庁舎内)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

⑬ひとり親家庭等への利用料の助成に関すること

登録相談時に助成制度の説明を行い、利用登録に関する受付事務を行いました。

制度紹介件数	利用登録件数
14件	362件(新規登録5名)

(33) 移送介助サービス事業【市受託事業】

外出の際の移動手段の確保が困難な方を対象に、買い物、通院、社会参加を目的とした送迎による外出を支援しました。

ア. 利用対象者 在宅の身体障がい者

イ. 移送用車両 車椅子リフト付き車両(定員10名)・1台

ウ. 利用登録者 27名

エ. 移送介助ボランティア 22名(男性20名/女性2名)

オ. サービス実施（派遣）状況

年度別	令和元年度	令和2年度	増減
派遣回数	170	60	△110
派遣ボランティア数(延)	161	60	△101
派遣職員数(延)	170	60	△110
派遣ボランティア実人数	127	68	△59

カ. 移送先内訳

派遣件数	福祉施設	社会参加活動	その他
57	9(15.8%)	0(0%)	48(84.2%)

キ. ハンディキャブの貸出事業

外出時に車いす及びストレッチャーを必要とする高齢者、障がい者等の社会参画の促進を図るため、ハンディキャブの貸出しを実施しました。

・貸出し実績 3件（3個人）

(34) 訪問給食サービス事業（昼食及び夕食の配達）（市受託事業）

高齢者世帯又は一人暮らしの高齢者並びに障がい者の方を対象に、栄養バランスを考慮した昼食・夕食及び疾病に対応した治療食の配食を行いました。

訪問による配食から、利用者の状況を適宜確認し、必要に応じて家族や介護サービス等関係機関への連絡を行い利用者の在宅生活の継続を支援しました。

ア. 利用者数及び配食数

【単位：名、食】

利用者	高齢者	障がい者	計
実利用者数	41	6	47
延利用者数	512	62	583
月平均利用者数	43.4	5.1	48.5
延配食数	13,942	1,069	15,477
月平均配食数	1,162	89	1,290
1日平均配食数	38.5	2.9	42.7

（前年度対比：実利用者数△7名、延配食数△1,019食）

(35) シルバーハウジング生活援助員派遣事業（市受託事業）

やまとの杜団地におけるシルバーハウジングと北栄C団地17、18号棟におけるシルバーハウジングの入居者を対象に、生活援助員が安否確認、生活相談、介護サービスの紹介及びケアマネジャーとの連携により、在宅生活継続のための支援を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、感染予防のため、交流事業の実施を縮小しています。

- ・シルバーハウジング入居状況： 北栄29世帯、やまとの杜34世帯
- ・生活指導及び相談件数 北栄25件、やまとの杜26件
- ・交流事業の企画 北栄34回、やまとの杜12回
- ・その他 北栄25件、やまとの杜26件

2 健康の保持増進と利用者ニーズに即した適切な介護保険サービスの提供

(36) ホームヘルプサービス事業（介護保険事業）

介護認定を受けた高齢者の方などを対象に、サービス提供責任者が利用者サービス計画書を作成し、経験豊富な担当ホームヘルパーと連携に努めることで、利用者の体調変化に即した食事、入浴、排泄等の身体介護と調理、掃除、洗濯等の生活援助を行いました。

また、新型コロナウイルスへの感染が疑われる方については、支援内容又は提供時間の見直し、防護服の着用などにより安全なサービスの提供に努めました。

新富ヘルパーステーション

・介護度別年間実利用者人数

【単位：名】

事業対象者	支援Ⅰ	支援Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ	合計
0	31	40	52	17	7	3	6	156

（前年度比：△5名）

・サービス提供時間数

【単位：時間】

	介護予防	生活援助	身体・生活	身体介護	合 計
4月	245.75	99	126.25	77.75	548.75
5月	197.75	78	97	78.5	451.25
6月	232.75	87.5	92	100.75	513.0
7月	266.25	102.5	138.5	101.25	608.5
8月	236.25	99.25	152	119.25	606.75
9月	272	108	155	128	663.0
10月	284	121	158.75	132	695.75
11月	264.25	101	142	120	627.25
12月	263.75	78.75	150.25	118.25	611.0
1月	250.25	76.5	147	96.75	570.5
2月	251.25	84.25	152	100.25	587.75
3月	277.25	92.25	174.25	143.25	687.0
計	3041.5	1128.0	1685.0	1316.0	7170.5

（前年度比：△171.1時間）

祝梅ヘルパーステーション

・介護度別年間実利用者人数

【単位：名】

事業対象者	支援Ⅰ	支援Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ	合計
1	23	13	28	11	6	3	4	89

（合計値前年度比：+7人名）

・ サービス提供時間数

【単位：時間】

	介護予防	生活援助	身体・生活	身体介護	合 計
4 月	85	116.25	104.25	49	354.5
5 月	82.75	113.25	93.25	46.5	335.75
6 月	102	126	90.75	35.5	354.25
7 月	107.5	129	99	49.25	384.75
8 月	87.5	113.75	101	62.75	365.0
9 月	91.75	111.75	110.25	72.5	386.25
10 月	101	109.5	123.75	99	433.25
11 月	98	105	113.5	99.5	416.0
12 月	104.5	106	109	102.5	422.0
1 月	104	112	84.75	111.75	412.5
2 月	102.5	109.5	90.75	101.75	404.5
3 月	118	134	107.75	116	475.75
計	1184.5	1386.0	1228.0	946.0	4744.5

(前年度比：合計+856.8 時間)

(37) デイサービスセンター事業（介護保険事業） 重点

介護認定を受けた高齢者の方などを対象に、寝たきりの方や車いすの方にも対応した安全な入浴、身体または脳トレ要素を取り入れたリハビリ運動、季節に応じたレクリエーション、治療食や和洋食などの豊富なメニューによる食事の提供などによるサービスを提供し、利用される方の心身の健康づくりに努めました。

また、新型コロナウイルス対策として、施設消毒の徹底、衛生備品の導入、職員及び利用者の健康管理を徹底するとともに、運動及びレクリエーションを感染予防に即した内容に見直すなど安全なサービスの提供に努めました。

新富 デイサービスセンター

・ 介護度別年間実利用者人数

【単位：名】

事業対象者	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
5	22	24	58	22	6	6	3	146

(前年度比：合計△3 名)

・ 介護度別延利用回数

【単位：回】

	事業対象者	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4 月	24	52	92	289	155	6	9	16	643
5 月	20	39	80	281	149	6	9	13	597
6 月	21	64	106	348	177	12	17	24	769

7月	23	67	126	348	169	17	29	23	802
8月	18	60	109	329	166	19	25	24	750
9月	16	66	132	344	152	26	25	26	787
10月	16	60	134	331	170	37	37	23	808
11月	17	54	122	320	160	25	21	11	730
12月	12	56	137	324	138	22	23	12	724
1月	12	54	141	306	126	24	8	9	680
2月	12	55	135	322	133	24	7	8	696
3月	13	62	155	389	125	26	15	8	793
計	204	689	1469	3931	1820	244	225	197	8779

(前年度比：合計+35回)

祝梅デイサービスセンター

・介護度別年間実利用者人数

【単位：名】

事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4	18	17	60	25	11	4	3	142

(前年度比：合計△12名)

・介護度別延利用回数

【単位：回】

	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	3	49	56	346	135	42	5	0	636
5月	7	25	46	283	107	51	1	0	520
6月	9	47	83	375	134	61	4	2	715
7月	9	60	86	430	133	60	3	0	781
8月	8	51	72	427	140	62	4	4	768
9月	9	60	80	394	168	54	5	13	783
10月	4	54	87	375	173	52	3	4	752
11月	4	53	90	309	176	46	7	2	687
12月	4	52	85	266	147	61	8	5	628
1月	3	54	91	252	159	59	7	4	629
2月	6	54	86	264	175	60	14	4	663
3月	8	65	104	294	200	70	5	5	751
計	74	624	966	4015	1847	678	66	43	8313

(前年度比：合計△541回)

(38) 要介護のケアプラン作成事業（介護保険事業）

要介護認定を受けた高齢者の方などを対象に、利用者が在宅での快適な生活を継続できるよう、ホームヘルプやデイサービスなどの居宅系介護保険サービス事業の利用、その他、地

域の福祉資源の活用などを用いた適切な介護サービスの計画の作成に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症については、個人情報の保護に留意しながら、市内介護保険事業所間における情報の共有を図り、利用者が安全して介護サービスを継続できるよう努めました。

新富ほっとす支援事業所

・介護度別利用者人数

【単位：名】

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4 月	144	45	21	11	6	227
5 月	142	49	23	9	6	229
6 月	140	52	24	10	5	231
7 月	139	52	27	10	7	235
8 月	131	47	28	10	7	223
9 月	132	48	26	9	9	224
10 月	131	56	27	11	9	234
11 月	131	50	29	10	7	227
12 月	130	48	26	11	9	224
1 月	125	44	23	9	7	208
2 月	125	47	24	10	6	212
3 月	133	47	23	10	6	219
計	1,603	585	301	120	84	2,693

(前年度比：合計△47 名)

(39) 要介護者認定調査事業

千歳市民及び他市町村に住民登録があって千歳市内に在住している方に対し、千歳市をはじめ他市町村からの依頼を受け、介護保険サービスが継続して利用できるよう認定の審査に必要な訪問調査を行いました。

- ・受託市町村 8 市町村
- ・調査受託件数 25 件 (前年度比：+11 件)

(40) 要支援者・事業対象者のケアプラン作成事業（地域包括支援センター）（介護保険事業）

地域包括支援センターにおいて、要支援 1・2 の認定を受けた高齢者等に対し介護予防支援サービス計画を作成し一定期間ごとに評価を行うことにより、要介護状態になることを予防し自立した生活が送れるための介護予防支援を行いました。

また、日常生活支援・総合事業における介護予防ケアマネジメント事業(包括的支援事業)の対象となる要支援者及び総合事業対象者についても上記同様、自立支援に資するケアマネジメントを行いました。

【単位：件】

	指定介護予防支援		介護予防ケアマネジメント		合 計	
	元年度	2 年度	元年度	2 年度	元年度	2 年度
西区包括	1564	1638	1375	1239	2939	2877
東区包括	1399	1446	1127	965	2526	2411
向陽台区包括	708	766	543	467	1251	1233

(41) 障がい福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護）

障がいのある方が安心して日常生活を送るために、サービス提供責任者が、利用者個々の状況に即した訪問介護計画書及び手順書等を作成し、ホームヘルパーと連携を図りながら掃除、洗濯等の家事援助及び入浴等の身体介護を実施しました。

- ・利用者実人数 17（前年度比：＋1名）
- ・延提供時間 1943.85 時間（前年度比：△499.9 時間）

基本目標5 ボランティアとともに災害に備える地域づくり

1 災害ボランティアセンターの運営体制の充実と災害ボランティア活動に関する協定締結団体との連携強化

(42) 災害ボランティアセンター運営事業 **重点**

災害ボランティアに興味のある市民及び協定締結団体を対象に、災害ボランティアセンター運営を支援するボランティアの養成を目的とする「防災ボランティアリーダー養成研修会」の開催や、協定締結団体である有限会社谷川企画クリアデザインと協働で制作した「ボランティア登録・予約受付システム」の運用の検証と対応力向上を目的とする「職員向け実働訓練」の実施により、適切にボランティア受け入れの対応が図れるよう人材の育成及び体制整備に取り組みました。

①北海道災害ボランティアセンター初期支援チーム研修会

と き 令和2年11月10日

会 場 札幌市 札幌ガーデンパレス

出席者 事務局1名

内 容 説 明 ・災害ボランティアセンター立ち上げ期に必要な要素と支援者の心構え
（一般社団法人ピースボート災害支援センター）
・災害ボランティアセンターの運営や支援活動における感染症対策
（北海道医療大学看護福祉学部 教授 塚本 容子 氏）
・新型コロナウイルス感染状況下における「市町村災害ボランティアセンター設置運営マニュアル」の道社協の行動・考え方のポイントについて
（北海道社協）

②コロナ禍における災害ボランティアセンター運営研修会【オンライン】

と き 令和3年3月23日

出席者 事務局 1 名

内 容 説 明 ・コロナ禍での災害ボランティアセンター運営状況等について(全社協)

報 告 ・令和 2 年 7 月豪雨災害における災害ボランティアセンターの取り組み
(久留米市社協、人吉市社協、芦北町社協)

・コロナ禍での災害ボランティア募集と災害ボランティアセンター運営体制
(熊本県、熊本県社協)

グループ討議 ・コロナ禍における災害ボランティアセンター運営と課題

③石狩地区災害ボランティア組織連携会議【オンライン】

と き 令和 3 年 3 月 12 日

出席者 事務局 2 名

内 容 道、道社協、NPO 法人北の国災害サポートチームから、「災害ボランティアセンター設置・運営に係る体制の整備、新型コロナウイルス感染予防対策、災害に備えた市町村行政との連携、NPO との連携のあり方について説明」、市町村社協から、「センター運営に必要な資機材の調達予定、市町村行政との運営経費等に係る協定の締結状況」等の現状報告

④千歳市災害ボランティアセンターに係る経費の財政支援とボランティアの待機・駐車場所について千歳市との協議

と き 令和 2 年 11 月 6 日

内 容 千歳市災害ボランティアセンター設置・運営時に不足が見込まれる経費とボランティアの受け入れ場所等について千歳市長へ要望書の提出を行うなど千歳市と協議を行いました。

(43) 防災ボランティアリーダー養成研修会事業

令和 2 年度防災ボランティアリーダー養成研修会

と き 令和 3 年 2 月 12 日(金)

会 場 千歳市総合福祉センター4 階 402 会議室

出席者 22 名※協定締結団体 4 名

(防災ボランティアリーダー登録者数:新規登録 1 名、累計 43 名)

内 容 事例報告「平成 30 年北海道胆振東部地震災害の経験を通して

～災害ボランティアセンター支援における被災者のニーズと関わり方～」(厚真町)

(44) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

①千歳市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

職員対象の図上訓練(防災ボランティアリーダー養成研修会と併催)

と き 令和 3 年 2 月 12 日(金)

会 場 千歳市総合福祉センター4 階 402 会議室

出席者 9 名

内 容 事例報告「平成 30 年北海道胆振東部地震災害の経験を通して

～災害ボランティアセンター支援における被災者のニーズと関わり方～」(厚真町)

②協定団体と連携した実働訓練 新規

と き 令和 3 年 2 月 25 日

会 場 千歳市社会福祉協議会事務所2階

出席者 協定締結団体 2 名、事務局 10 名

内 容 千歳市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、センターの役割であるボランティア登録及び活動予約に係る受付業務について、千歳市災害ボランティアセンターの情報発信に関する協定を締結している有限会社谷川企画クリアデザインと共同で作成した「ボランティア登録・予約受付システム」を使用し、シミュレーション訓練を実施しました。

③千歳市災害ボランティアセンター「ボランティア登録・予約受付システム」制作に係る打合せ

と き 令和2年 11 月 13 日、令和 3 年 2 月 3 日

会 場 千歳市社会福祉協議会事務所

出席者 有限会社谷川企画クリアデザイン 2 名、事務局3名

内 容 ボランティア登録・予約受付システムを導入する目的や、システムに求める機能について意見交換を行い、「ボランティア登録・予約受付システム」の制作に向けて協議を行いました。

基本目標 6 住民一人ひとりの相談を受け止め、解決していくしくみづくり

1 相談窓口の周知と総合的な相談体制の強化

(45) 心配ごと相談所事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入の減少等を理由に生活に困窮している世帯の緊急かつ一時的な生活費の相談等について、緊急小口資金・総合支援資金（特例貸付）制度の受付を行ったほか、千歳市福祉課やハローワーク等と連携し、他の公的制度等を案内しました。また、千歳市家庭生活カウンセラークラブ相談員により平日の日中及び夜間に相談窓口を開設し、家庭生活や社会生活等の悩みごとを抱えた人がいつでも気軽に相談できる体制づくりを行いました。

ア. 相談員 社協職員、千歳市家庭生活カウンセラークラブ

イ. 開設日 来所相談・電話相談

○社協職員 月～金曜日 8 時 45 分～17 時 15 分

○千歳市家庭生活カウンセラークラブ

毎週火・水曜日 13 時～16 時

第 2・4 木曜日 18 時 30 分～20 時 30 分

ウ. 取扱件数 3,241 件（前年度比 2,869 件増）

※生活福祉資金（新型コロナウイルス感染症特例貸付）2,765 件含む

エ. 相談者数 延べ 3,241 名（前年度比 2,869 件増）

男性：2,213 名（68.3%）、女性：1,028 名（31.7%）

オ. 相談方法 来所：1,283 名（39.6%）、電話：1,958 名（60.4%）

カ. 相談内容別処理状況

(件)

No.	相談事項	取扱件数	処理事項					
			解決	再来	民生委員	他機関	その他	自助支援
1	生 計	3,040	1,315	1,619	-	61	20	25
2	住 宅	1	-	-	-	-	1	-
3	医 療	11	3	4	-	2	1	1
4	教 育	29	5	21	-	3	-	-
5	家族関係	37	23	9	-	4	1	-
6	人間関係	52	34	18	-	-	-	-
7	福祉関係	3	-	1	-	1	-	1
8	社会生活	11	9	1	-	1	-	-
9	人権法律	-	-	-	-	-	-	-
10	償 還	25	8	14	-	-	-	3
11	その他	32	24	7	-	1	-	-
合 計		3,241	1,421	1,694	-	73	23	30

(46) 生活応急資金貸付事業

低所得者のための不時の出費等により生活がおびやかされ、資金の融通を他から受けることが困難である世帯に対し、一時資金の貸付を行うとともに相談援助を行いました。

ア. 生活応急資金貸付状況

- ・貸付件数 60 件（前年度比 1 件減）
- ・貸付金額 1,965 千円（前年度比 80 千円増）
- ・償還件数（過年度・当年度貸付分）60 件
- ・償還金額（過年度・当年度償還分）1,990 千円

区 分	件 数		金 額 (円)		償還指導 (件)
	元年度	2 年度	元年度	2 年度	
貸 付	61	60	1,885,000 円	1,965,000 円	督促通知 81 件(延) 居住地調査 28 件
償還 (過年度貸付分)	10	7	136,000 円	255,000 円	
償還 (当年度貸付分)	54	53	1,635,000 円	1,735,000 円	

イ. 生活応急資金償還金納入督促の発行 年 2 回 (7 月・1 月)

ウ. 生活応急資金償還金支払免除

3 件 / 140,000 円 (免除該当要件：民法上の規定に基づく時効)

(47) 食料支給サービス事業

生活支援の相談を受ける中で緊急的な食糧確保の必要な世帯に対して、食料支給を行いました。

支給件数 (支給世帯数)		支給世帯の 家族総数 (人)		支給内容・数量		
元年度	2 年度	元年度	2 年度		元年度	2 年度
40	47	55	88	精米 (kg)	51	71
				惣菜缶詰 (個)	163	240
				水 (500ml)	-	-
				レトルトカレー (個)	155	230
				カップめん (個)	165	274

・ダイヘン児童家計支援事業 新規

ア. お米等の食料支給支援 (子ども対象)

株式会社ダイヘン様より北海道共同募金会を通じて、子どもの貧困支援事業として 3 万 5 千円の助成を受け、子どものいる世帯へお米等の食糧支給支援を実施しました。

支給件数 (支給世帯数)	支給世帯の子ども総数 (人)	支給内容・数量	
37	75	精米 (kg)	660
		惣菜缶詰 (個)	10
		水 (500ml)	-
		レトルトカレー (個)	25
		カップめん (個)	30

イ. イオングフトカードによる学用品等の購入支援 (子ども対象)

株式会社ダイヘン様より、子どもの貧困支援事業として本会愛情銀行へいただいた寄付金 40 万円を活用し、子どものいる世帯の買い物に同行し、学用品等の購入支援を実施しました。

支給件数 (支給世帯数)	支給世帯の 子ども総数 (人)	支給内容・数量	
2	7	イオングフトカード (枚) (子ども 1 人あたり: 5,000 円)	35

(48) 地域包括支援センター運營業務（市受託事業） 重点

西区地域包括支援センター

①相談件数及び相談内容（表中の相談者・相談内容は主なものを記載）

相談件数	相談方法		相談者		相談内容（重複あり）		相談対象者年齢	
1091 件 前年度 1222 件	電 話	66	本 人	36	介護保険関係	63	65 歳未満	59
	来 所	10	家族・親族	32	保健・福祉サー	67	65～74 歳	19
	訪 問	30	民生委員・	9	虐待・権利擁護	49	75 歳以上	78
	文 書	0	行政機関	60	医療・健康相談	14	不 明	53
	緊急通報	3	医療機関	17	家族支援	1		
	その他	11	介護支援専	16	情報照会	23		
	—	—	その他	14	そ の 他	17		

②権利擁護業務（相談件数の再掲）

高齢者虐待相談の内訳					
身体	経済	精神	性的	放棄	合 計
12	3	0	0	3	18

権利擁護相談の内訳					
成年後見 利用	日常生活自 立支援事業	消費者被害	困難事例	その他	合 計
1	11	0	19	0	31

③地域ケア会議の開催

- ・個別事例：2 回（8/5、1/21）

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・市内 5 か所の地域包括支援センター主任介護支援専門員による活動
打合せ会の参加：2 回（8/21、10/1）

⑤多職種連携・協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ・千歳市保健福祉部高齢者支援課地域支援係、居宅介護支援事業所との個別事例に関する
情報共有：1 回（8/5）
- ・地域ケア会議等市町村支援事業を利用した打ち合わせ開催：1 回（9/24）

⑥地域におけるネットワークの構築

- ・認知症対応型共同生活介護、地域密着型通所介護の運営推進会議の参加：2 回
（7/8、9/9）
- ・生活支援コーディネーターとの打ち合わせ開催：2 回（9/15、10/15）
- ・新富西町内会サロン挨拶（10/10）
- ・第 7 地区民生委員児童委員協議会挨拶（10/10）
- ・第 6 地区民生委員児童委員協議会挨拶（10/14）
- ・桜木町内会サロン挨拶（10/22）
- ・北栄東町内会サロン挨拶（10/26）

- ・新富東町内会サロン挨拶（10/28）
- ・北斗3丁目町内会サロン挨拶（11/2）

東区地域包括支援センター

①相談件数及び相談内容（表中の相談者・相談内容は主なものを記載）

相談件数	相談方法		相談者		相談内容（重複あり）		相談対象者の年齢	
761件 前年度 826件	電 話	51	本 人	21	介護保険関係	55	65歳未満	32
	来 所	70	家族・親族	28	保健・福祉サー	52	65～74歳	18
	訪 問	16	民生委員・	25	虐待・権利擁護	24	75歳以上	52
	文 書	1	行政機関	29	医療・健康相談	18	不 明	24
	その他	12	医療機関	92	家族支援	15		
	—	—	介護支援専	66	情報照会	29		
	—	—	その他	42	そ の 他	34		

②権利擁護業務（相談件数の再掲）

高齢者虐待相談の内訳					
身体	経済	精神	性的	放棄	合 計
12	1	0	0	8	21

権利擁護相談の内訳					
成年後見 利用	日常生活自 立支援事業	消費者被害	困難事例	その他	合 計
2	1	0	0	0	3

③地域ケア会議の開催：0回

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・市内5か所の地域包括支援センター主任介護支援専門員による活動
打ち合わせ会の参加：2回（8/21、10/1）

⑤多職種連携・協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ・個別支援検討のネットワークミーティング：2回（3/10、3/11）
- ・地域福祉係との情報交換会（8/19、9/24、10/20、11/16）
- ・地域リハビリテーション活動支援事業の実施について打ち合わせ（2/16）

⑥地域におけるネットワークの構築

- ・第2地区民生委員児童委員協議会あいさつ、包括の周知（7/9）
- ・第4地区民生委員児童委員協議会出席（7/14、10/13、3/9）
- ・第5地区民生委員児童委員協議会あいさつ、包括の周知（8/6）
- ・第9地区民生委員児童委員協議会出席（9/8）
- ・第11地区民生委員児童委員協議会出席（8/11、9/8、2/9）
- ・ちょこっと茶屋の開催協力：6回

向陽台区地域包括支援センター

①相談件数及び相談内容（表中の相談者・相談内容は主なものを記載）

相談件数	相談方法		相談者		相談内容（重複あり）		相談対象者の年齢	
943 件 前年度 841 件	電 話	56	本 人	22	介護保険関係	64	65 歳未満	37
	来 所	19	家族・親族	34	保健・福祉サー	83	65～74 歳	17
	訪 問	17	民生委員・	24	虐待・権利擁護	75	75 歳以上	68
	文 書	0	行政機関	43	医療・健康相談	12	不 明	42
	その他	9	医療機関	11	家族支援	0		
	—	—	介護支援専	73	情報照会	13		
	—	—	その他	11	そ の 他	13		

②権利擁護業務（相談件数の再掲）

高齢者虐待相談の内訳					
身体	経済	精神	性的	放棄	合 計
23	26	1	0	16	66

権利擁護相談の内訳					
成年後見 利用	日常生活自立 支援事業	消費者被 害	困難事例	その他	合 計
6	3	0	0	0	9

③地域ケア会議の開催：7 回

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・市内 5 か所の地域包括支援センター主任介護支援専門員による活動
打合せ会の参加：2 回（8/21、10/1）
- ・向陽台地区居宅介護支援事業所と向陽台包括支援センターとの活動
ア 石狩振興局との打ち合わせ会参加（9/24）
イ 事例検討会・情報交換会開催（10/28、12/18、3/11）

⑤多職種連携・協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ・障がい分野と介護保険分野との活動
ア 打ち合わせ会参加（1 回）
イ 意見交換及び情報交換会開催（10/9）
- ・道央地区在宅緩和ケアネットワーク研修会参加（2/18）
- ・個別支援検討のネットワークミーティング：（3/29）

⑥地域におけるネットワークの構築

- ・第 10 地区民生委員児童委員協議会定例会出席（5/27、2/10）
- ・若草町内会福祉委員会出席（7/10）
- ・里美町内会福祉委員会出席（8/23、11/15、1/24）
- ・文京町内会福祉委員会出席（7/11）
- ・介護予防サロン等の巡回（4 回）
- ・向陽台地区全世帯、店舗等への周知案内文配布（5 月～10 月末）

- ・地域密着型介護事業所運営推進会議出席（書面会議含む）：19回
- ・ちょこっと茶屋 向陽台の活動
 - ア 打ち合わせ会参加（5/12、6/2、7/17、8/12）
 - イ ちょこっと茶屋 向陽台開催（8/21、9/18、10/16）

（49）生活福祉資金・特別生活資金貸付事業（道社協受託事業）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業・失業等による収入の減少があり、緊急かつ一時的に生計を維持するために生活費の借入を必要としている世帯に対し、緊急小口資金・総合支援資金（特例貸付）の申請受付を行いました。

また、他の公的な給付・貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者・高齢者世帯、失業者の経済的自立と生活の安定を目指し、様々な使途に応じた貸付を行いました。

ア. 生活福祉資金取扱状況

区 分		貸付件数	貸付額	償還指導
特例貸付 （新型コロナ ウイルス関係）	緊急小口資金	760 件	128,420,000 円	282 件（延べ） [内訳] 相談指導：25 件 督促通知：132 件 滞納通知：5 件 口座振替不能に係る通知 ：100 件 居住地調査：20 件
	総合支援資金	204 件	145,616,000 円	
総合支援資金	生活支援費	1 件	840,000 円	
福祉資金	緊急小口資金	13 件	1,045,000 円	
教育支援資金	就学支度費	2 件	267,000 円	
	教育支援費	2 件	2,346,000 円	
合 計		982 件	278,534,000 円	

※償還指導の方法 文書、電話、来所

イ. 千歳市生活困窮者自立支援連絡調整会議

と き 令和2年2月12日（書面による開催）

ウ. 特別生活資金貸付【道社協受託事業】

燃料費等冬期の生活を確保する資金を必要とする年金等を受給する高齢者、障がい者世帯、特定疾患患者世帯へ貸付を行う制度で、令和2年度の貸付実績はありませんでした。

（50）緊急通報システム訪問調査事業（市受託事業）

一人暮らし等の高齢者の相談や緊急事態に迅速に対応する緊急通報システム設置希望者に対し、3か所の地域包括支援センター職員が訪問し身体状況・日常生活状況など設置基準に関する調査を行いました。

また、設置後は西区地域包括支援センターにおいて一人暮らしの高齢者や障がいのある方の急病や緊急時の相談があった時に、必要に応じて関係機関への連絡や調整等の対応をしました。

- ・ 調査件数 28件 （内訳：西区包括 8件、東区包括 9件、向陽台区包括 11件）

2 権利擁護体制の構築

(51) 法人後見事業

判断能力の低下により成年後見の支援が必要となる方に対して、市長申立て等を要件に、財産管理、身上監護などの後見事務を行う法人後見事業を実施しました。

①相談援助件数 212件

②市長申立てによる法人後見受任件 4件

③現受任件数8件（認知症高齢者7件、知的障がい者1件）

【単位：件】

令和元年度			令和2年度				令和2年度末		
後見	保佐	合計	新規受任		終了		後見	保佐	合計
			後見	保佐	後見	保佐			
5	0	5	2	2	1	0	6	2	8

④後見支援員情報交換会

と き 令和2年12月1日（火）

内 容 情報交換

対 象 後見支援員3名

⑤後見支援員候補者登録数 14名

【単位：名】

令和元年度末		講座修了者		令和2年度末	
男	女	男	女	男	女
1	2	5	9	6	11

⑥後見支援員活動者 5名（男性1名 女性4名）

・令和3年3月1日付け後見支援員業務契約 2名

(52) 緊急事務管理事業

日常生活自立支援事業等を利用するまでの間、利用者の生命、健康及び財産の保護を図るため、本人に代わり緊急事務管理を行いました。

ア. 契約状況

【単位：件】

	令和元年度末 契約件数	令和2年度 新規契約件数	令和2年度 解約件数※	令和2年度末 契約件数
認知症	2	5	6	1
知的障がい	0	1	1	0
精神障がい	0	1	1	0
合計	2	7	8	1

イ. 解約理由：後見人申立て移行2件、日常生活自立支援事業移行4件、施設入所1件
本人の希望1件

(53) 千歳市成年後見支援センター運営事業（市受託事業）重点

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な人が、住み慣れた地域で安心して暮らすため、成年後見制度を適正に利用できるように支援するとともに、これらの

人の権利及財産を守ることができるよう、成年後見制度の利用促進を行います。

①市民向け講演会

令和2年10月24日（土）開催予定 中止

「市民対象 成年後見制度講演会・無料相談会」

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

②専門職向け成年後見制度研修会（北区地域包括支援センターとの共催）

日にち 令和3年3月12日（金） オンライン

内 容 「意思決定支援を考える」（事例報告・事例検討）

対 象 専門職

協 力 介護・医療連携の会

助言者 苫小牧市成年後見支援センター長 古川 義則氏

受講者 51カウント、70名（1カウント複数名申込）

③無料相談会（6月・10月）開催予定 ＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

④相談実績

（1）月別相談件数・時間数 （ ）は新規相談で内数。

【単位：件/時間】

年	件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2	件数	14 (1)	8 (3)	21 (11)	11 (6)	23 (11)	29 (19)	13 (1)	25 (7)	29 (7)	26 (12)	11 (7)	12 (8)	222 (93)
	時間数	3.35	2.10	7.25	5.25	12.2	17.35	5.35	13.20	10.30	12.30	4.50	5.25	100.4
令和元	件数							9 (9)	7 (7)	19 (11)	22 (11)	17 (7)	10 (4)	84 (49)
	時間数							3.50	4.00	8.50	14.25	10.30	6.45	48.20

（2）相談内容

【単位：件】

相談内容	成年後見制度説明	成年後見手続き支援	市長申立利用支援	成年後見等利用相談	任意後見制度説明	後見人支援	その他	合計
件数	13	22	10	77	8	4	88	222

※その他の相談内容：成年後見制度以外の法律相談（相続・遺言など）

（3）相談方法内訳

【単位：件】

	電話	来所	訪問	会議	申立同行	その他	合計
令和2年度	121	56	30	7	0	8	222
令和元年度	31	40	13	0	0	0	84

（4）相談対象者別内訳

【単位：円】

	認知症	知的	精神	その他	合計
令和2年度	138	22	19	43	222
令和元年度	53	5	5	21	84

(5)相談受理経路

【単位：件】

相談者	本人	親族	包括	ケアマネ	行政	社協	事業所	医療機関	司法関係	民生委員	不明	合計
令和2年度	27	59	20	31	8	3	14	25	11	3	21	222
令和元年度	9	32	8	5	1	1	3	13	1	0	11	84

⑤広報及び啓発

情報発信・周知

- ・社協だより「今日から、」やホームページでの情報発信
- ・ポスター、パンフレット、チラシ等を市役所及び医療機関等への設置
- ・「広報ちとせ」、タウン情報誌「ちゃんと」への掲載及び「シリーズ成年後見制度の活かし方」連載

出前講座及び地域ケア会議

- ・向陽台区地域包括支援センター主催「成年後見制度研修会」

と き 令和2年9月9日 開催予定

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

代替えとして、成年後見制度・遺言に関するチラシ配付（7 町内会回覧）

「地域ケア会議」南区地域包括支援センターとの共催

と き 令和2年9月10日

内 容 「お金の終活」について、考えてみませんか？

～知っておきたい任意後見制度と遺言のこと～

会 場 千歳市社協会議室

「地域ケア会議」北区地域包括支援センターとの共催

と き 令和3年3月12日 ＊オンライン

内 容 「意思決定支援を考える」（事例報告・事例検討）

※専門職向け成年後見制度研修会（再掲）

「地域ケア会議」東区地域包括支援センター

と き 令和3年3月10日

内 容 「ケースの情報共有と対応について」

会 場 東区地域包括支援センター

「地域ケア会議」向陽台区地域包括支援センター

と き 令和3年3月25日

内 容 「ケース検討会議」

会 場 東雲会館1号室

⑥職員研修（オンデマンド及びZOOM開催）

- ・令和2年度成年後見制度利用促進体制整備研修【基礎研修・応用研修】

と き 令和2年8月下旬～12月中旬

受講者 基礎研修1名、応用研修3名

- ・地域における権利擁護システム構築セミナー

と き 令和3年2月3日

受講者 センター職員3名

- ・成年後見制度普及セミナーin 北海道

と き 令和3年3月10日

受講者 センター職員3名

- ・令和2年度 任意後見・補助・保佐等の相談体制強化・広報事業（厚生労働省委託）東京開催セミナー 福関係者が知っておきたい「任意後見制度」

と き 令和3年3月11日

受講者 センター職員3名

- ・後見人等への意思決定支援研修

と き 令和3年3月12日

受講者 センター職員3名

⑦成年後見制度推進に関する顧問との打合せ等

- ・顧問との打合せ・相談回数：24回

⑧関係機関との連携強化

- ・市長申立て検討ケースに係る相談支援及び同行訪問等 5回
- ・恵庭市成年後見支援センターへの市長申立て支援者引継ぎ 1回

(54) 市民後見人養成講座事業（市受託事業）**新規・重点**

認知症や知的、精神障がいなどの理由で判断能力が不十分な方の権利を護るため、市民が身上監護や金銭管理などの後見事務を行う「市民後見人」の養成講座を恵庭市社会福祉協議会と共催により実施しました。

ア. 市民後見人養成講座事前説明会

と き 令和2年8月5日

会 場 社協会議室2・3

内 容 (1)成年後見制度について～市民後見人の活動について～
(2)市民後見人からのメッセージ 講師 苫小牧市民後見人
(3)市民後見人養成講座の受講について

参加者 25名、後見支援員1名

講座申込者 17名、後見支援員2名

イ. 市民後見人養成講座

と き 令和2年9月16日～10月14日（毎週水曜日・全5回・概ね30時間）

会 場 千歳市中心街コミュニティセンター、千歳市北ガス文化ホール、社協会議室他

受講者 27名（千歳市：17名、聴講生2名（後見支援員）・恵庭市10名）

恵庭市成年後見支援センターとの打ち合わせ 5回

(55) 日常生活自立支援事業（道社協受託事業）**重点**

判断能力が不十分で日常生活に不安のある高齢者や障がい者等に対し、地域で自立した生活がおくれるよう福祉サービスの利用や金銭管理等を支援しました。

ア. 相談援助件数 795件（前年度403件）

（内訳：制度問合せ7件、初回相談15件、相談援助773件）

イ. 契約状況 (単位：件)

	令和元年度末 契約件数	令和２年度 新規契約件数	令和２年度 解約件数※	令和２年度末 契約件数
認知症	4	4	1	7
知的障がい	1	0	0	1
精神障がい	15	2	2	15
合計	20	6	3	23

※契約延べ件数 73 件（平成 12～令和 2 年度）、令和 2 年度新規契約件数 6 件（前年度 5 件）

ウ. 研修会及び会議

①第 1 回新任生活支援員研修会

と き 令和 2 年 4 月 21 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

参加者 2 名（生活支援員として新たに登録を希望する方）

②第 2 回新任生活支援員研修会

と き 令和 2 年 11 月 5 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

参加者 5 名（生活支援員として新たに登録を希望する方）

③第 3 回新任生活支援員研修会

と き 令和 3 年 3 月 18 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

参加者 1 名（生活支援員として新たに登録を希望する方）

④日常生活自立支援事業における生活支援員・自立生活支援専門員・指揮監督者研修
（道社協研修）

レポート提出 令和 3 年 1 月 31 日

参加者 20 名（内訳：自立生活支援専門員 2 名、生活支援員 18 名）

⑤生活支援員・後見支援員フォローアップ研修会

と き 令和 3 年 2 月 18 日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

内 容 講演・演習「人を守り自分を守る」 講師 河岸由里子氏（臨床心理士）

参加者 13 名

エ. 生活支援員登録状況

・登録者数 30 名（前年度 27 名）

基本目標 7 課題に柔軟に対応していくための体制づくり

1 地域ニーズや生活課題を把握するための取り組みの推進

(56) 地域福祉懇談会開催事業

福祉ニーズや生活課題の把握、情報交換等を目的に参加町内会の拡大を図りながら、小地域福祉活動について理解する機会として地域福祉懇談会を開催したほか、町内会等が主催する懇談会に参加しました。

ア. 町内会主催の懇談会への参加

・若草町内会福祉委員会

と き 令和2年7月10日

会 場 若草町内会館

出席者 町内会関係者10名、生活支援コーディネーター2名

内 容 ヤマセミねっと説明ほか本会事業について説明

イ. 地区民生委員児童委員協議会例会への参加

と き 令和2年10月14日（第6地区）、11月11日（第10地区）

会 場 北新コミュニティセンター、泉沢向陽台コミュニティセンター

出席者 事務局3名

ウ. 千歳市民生委員児童委員連絡協議会会長会への参加

と き 令和2年6月17日

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室

出席者 事務局1名

エ. 民生委員等と連携した相談支援

生活福祉資金債務者に対し、民生委員と連携して自立に向けた相談支援を行いました。

2 地域ニーズや生活課題に基づいた取り組みの推進

(57) 新たな事業展開の検討

介護保険制度の改正など新たな制度への対応や住民の複合的な生活課題に対応する助け合い活動創出やしくみづくりについて検討しました。

基本目標 8 社協の認知度アップと人材・財源確保のしくみづくり

1 人材・財源確保のしくみづくりと、安定した組織運営の推進

○自主財源と公費財源の確保

役員を中心に個人賛助会員・団体賛助会員・企業会員の加入呼びかけを行い、会員会費制度へ理解と協力をお願いしました。

ア. 会員加入状況

	令和元年度	令和２年度	増減
個人賛助会費	658,000 円 (307 件)	692,000 円 (309 件)	34,000 円 (2 件)
団体賛助会費			
福祉団体等	392,000 円 (163 件)	446,000 円 (171 件)	54,000 円 (8 件)
老人クラブ	76,000 円 (36 件)	72,000 円 (36 件)	-4,000 円 (-1 件)
町内会	130,000 円 (60 件)	146,000 円 (68 件)	16,000 円 (8 件)
企業会費	1,220,000 円 (117 件)	1,060,000 円 (106 件)	-160,000 円 (-11 件)

イ. 会員募集強調月間の実施内容

- ①現会員への周知文書及びチラシ（郵便振替用紙同封）による勧奨
- ②「今日から、」（7月号）、ホームページ等の広報媒体の活用
- ③社協事務所屋外（正面玄関）への周知看板の設置によるPR活動
- ④新個人賛助会員、団体賛助会員、企業会員への会員章プレートの配付
- ⑤新会員加入促進のため当法人の取引業者様（未加入法人）に対して、会員会費の理解と協力を依頼（依頼 24 件）

ウ. 継続的な加入につながる会費納入システムの導入

預金口座振替による会費の納入について、会員に対して案内し利用促進に努めました。

・口座振替登録件数 22 件

エ. 会報「今日から、」の広告募集

会報「今日から、」へ広告を掲載する事業所等を募集しました。

・広告掲載状況

	件数	金額	発行部数
令和２年度	48 件	185,000 円	(5月) 42,419 部 (11月) 42,454 部 (7月) 42,444 部 (1月) 42,460 部 (9月) 42,444 部 (3月) 42,460 部
令和元年度	48 件	180,000 円	(5月) 42,134 部 (11月) 42,104 部 (7月) 42,104 部 (1月) 42,419 部 (9月) 42,104 部 (3月) 42,419 部

オ. ホームページバナー広告

社協ホームページへ広告を掲載する事業所等を募集しました。

・広告掲載状況

	件数	金額	掲載料（1ヶ月）
令和２年度	4 件	48,000 円	1,000 円
令和元年度	3 件	36,000 円	1,000 円

カ. 愛のポケット募金箱の設置協力

	件数	寄付金	募金箱設置個数
令和２年度	97 件	240,615 円	96 個
令和元年度	99 件	357,043 円	85 個

○愛情銀行寄付金及び社会福祉基金の適切な運用

ア. 愛情銀行の啓発

広報紙、パンフレット等によるPR活動の強化に努めました。

①一般預託寄付金（物品除く）

	件数	寄付金
令和2年度	90件	2,191,032円
令和元年度	142件	3,333,167円

②指定預託寄付金（物品除く）

	件数	寄付金
令和2年度	7件	1,267,062円
令和元年度	6件	87,509円

イ. 社協会葬礼状による寄付金

社協会葬礼状（香典による寄附）の全市的普及に向けて町内会及び市内各葬儀社のご協力をいただきました。

	件数	寄付金
令和2年度	6件	630,000円
令和元年度	6件	280,000円

ウ. 福祉機器購入積立金残高 513,676円

①リングプルの回収

	回収量	寄付換金
令和2年度	905 kg	9,515円
令和元年度	1,582 kg	20,607円

②ちとせ集団資源回収紙パック奨励金福祉寄附 57,547円

エ. 交通遺児見舞金積立金残高 479,161円

①交通遺児見舞金・援助金の支給

交通事故により遺児となった満18歳未満の者に対して、福祉向上に寄与するための援助金の支給です。今年度の支給はありませんでした。

オ. 社会福祉基金運動の啓発

社会福祉基金寄附金 1件 76,290円

カ. 愛キャップ市民回収運動の協力

①実施者 愛キャップ市民回収運動実行委員会

②ペットボトルキャップ回収量及び社会福祉基金寄附金

	回収量	寄附金
令和2年度	7,629 kg	76,290円
令和元年度	8,089 kg	80,890円

③社会福祉基金寄附金 76,290円

④愛キャップ市民回収運動実行委員会の開催

日 時 令和3年2月17日

場 所 千歳市社会福祉協議会事務所2階 会議室2. 3

内 容 令和2年度愛キャップ市民回収運動結果について

○介護保険事業の健全な運営

・介護保険事業収益状況

サービス区分	3月末収益累計額	前年度比	備考
新富 訪問介護事業	32,942,327 円	△1,529,206 円	障がい者福祉サービス含む
祝梅 訪問介護事業	17,420,093 円	3,907,072 円	障がい者福祉サービス含む
新富 通所介護事業	65,257,339 円	△820,052 円	
祝梅 通所介護事業	63,382,522 円	△1,423,310 円	
新富 居宅介護支援事業	42,693,420 円	△1,240,060 円	
合 計	221,695,701 円	△1,105,556 円	

(58) 職員研修

研修体制の充実に努め、職員一人当たりの平均研修参加回数は1.13回でした。

(前年度：2.12回)

※平均研修参加回数計算式：研修参加人数58名÷総合・嘱託職員数51名＝1.13

ア. 各種研修事業への参加

α. 職員研修（外部研修参加人数：106名）

【8月】総務・労務管理研修（19日）／1名

福祉専門職のためのキャリアアップ研修（20日）／1名

【9月】白老町情報発信サイト「しらおいナビ」視察研修（4日）／3名

働き方改革実務セミナー（7日）／1名

コミュニティソーシャルワーク研修（7～8日）／2名

北海道主任介護支援専門員研修1回目（14日）／2名

福祉専門職のためのキャリアアップ研修（16日）／1名

全道市町村社協事務局長会議（23～24日）／2名

【10月】甲乙同時防火管理講習（1～2日）／1名

北海道主任介護支援専門員研修2回目（7～8日）／2名

主任介護支援専門員資質向上研修（WEB）／1名

介護予防ケアマネジメント従事者研修（27日）／1名

【11月】北海道高齢者虐待防止推進研修会在宅編（4日）／1名

地域包括支援センター職員研修（5日）／1名

北海道災害ボランティアセンター初期支援チーム研修会（10～11日）／1名

全道新任社協職員研修会（11～12日）／2名

北海道主任介護支援専門員研修3回目（17～19日）／2名

介護予防ケアマネジメント研修（WEB）／2名

- 【12月】介護報酬改定の詳細と事前対策研修（22日）（WEB）／1名
 運転寿命プロジェクト・コンソーシアム2020年講演会（25日）／1名
 成年後見制度利用促進体制整備研修会《8～12月》（WEB）／3名
- 【1月】災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会（WEB）／1名
- 【2月】地域共生社会推進研究協議会（1日）／5名
 地域における権利擁護システム構築セミナー（3日）／3名
 実践型地域づくり人材育成プログラム成果報告会（3日）／2名
 全国地域包括・在宅介護支援セミナー研修会（8日）／1名
 石狩管内生活支援コーディネーター情報交換会（15日）／4名
 全国地域包括在宅介護支援センター研修会（WEB）／1名
 石狩管内社協職員連絡協議会研修会（25日）（WEB）／1名
- 【3月】成年後見制度普及セミナーin北海道（10日）（WEB）／3名
 後見人等への意思疎通支援研修（12日）（WEB）／3名
 地域包括ケア担当職員セミナー（WEB）／1名
 北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修（WEB）／1名

イ．内部職員研修の実施

階層別に応じた研修を実施し、法人の理念、社協職員としての役割、求められる能力を理解し業務の円滑試行に役立つ知識やスキル等を習得するとともに、指導力の強化や職員間のコミュニケーション向上を図ることを目的とした内部研修を実施しました。

講 師：岡田光次郎 氏（よつば社会保険労務士事務所 社会保険労務士）

会 場：千歳市社会福祉協議会会議室2・3、新富ほっとす2階研修室

	日 時	出席人数	研修テーマ（研修方法）
第1回	6/10（水） 16:50～18:20	4名	課長職グループ 「労務管理上のリスクマネジメント」
第2回	7/10（金） 17:30～19:00	6名	新人職員グループ 「新入職員として求められる人物像とは」
第3回	8/6（木） 13:30～15:00	14名	嘱託職員グループ 「社協職員として求められる人物像とは」
第4回	9/11（金） 17:00～18:30	14名	主任・中堅職員グループ 「中堅職員に求められる管理能力」
第5回	10/16（金） 17:00～18:30	7名	係長職グループ 「リーダー職員に求められる管理能力」

ウ．介護の専門職育成事業

市内における新型コロナウイルス感染症の流行から、利用者の安全なサービス提供を確保するため、教育機関及び福祉機関が実施する介護や福祉の人材育成に係る実習生の受入を見送りました。

2 社協活動の「見える化・見せる化」の推進

(59) 広報活動事業

ア. 会報「今日から、」の発行

広く社協活動をお知らせするとともに、福祉の啓発を目的に発行し介護予防や福祉団体活動紹介の連載を掲載しました。また、編集会議を開催し、紙面の充実に努めました。

	令和元年度		令和2年度		配付方法
	回数	部数	回数	部数	
「今日から、」	6	253,284	6	254,681	生活情報誌「ちゃんと」への折込、配達地域指定郵便物(タウンメール)の利用、就労継続支援B型へ配付依頼、企業会員へ郵送

・編集会議（構成：広報委員1名、事務局職員6名）

令和2年4月2日、7月17日、7月30日、9月17日、10月2日、11月20日、12月3日、令和3年1月26日、2月3日、3月24日（10回）

イ. ホームページの運用

事業の実施案内や報告などを細かに掲載し、タイムリーな情報発信に努めました。

・閲覧者数：99,784名（前年比：20,437名増）

・ページ参照数（上位項目のみ記載）

新富ほっとす	5,147
採用情報	3,477
千歳市ボランティアセンター作成記事 「笑うと福が来る！コロナ疲れを吹き飛ばそう！」	3,021
手話であいさつ・指文字表がご覧になれます	2,767

ウ. その他

・財政状況の情報公開

a. 社会福祉法に基づく事業報告書・財産目録・貸借対照表及び収支計算の備え置き（法人各事務所5カ所）

b. 「今日から、」に決算報告を掲載

c. ホームページでの財務三表の公開

・事務所会議室の利用状況

	利用回数（回）		利用時間（時間）		利用人数（人）	
	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度
登録福祉団体	460	449	1,121	1,343	6,723	3,699
社協関係	537	771	1,378	3,118	6,258	4,422
千歳市関係	22	9	64	36	451	190
合 計	1,019	1,229	2,564	4,497	13,432	8,311

（利用人数前年度比：5,121人減）

(60) 社会福祉大会開催事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第 58 回千歳市社会福祉大会の開催を中止し、社会福祉に功労のあった個人・団体に対する表彰式のみ執り行いました。

○令和 2 年度社会福祉功労等表彰式

千歳市における社会福祉活動、社会福祉事業の推進に貢献し、または他の模範と認められる行為があった 161 個人及び 9 団体に対し、社会福祉の貢献・功労に関する表彰状の贈呈を行いました。

と き 令和 2 年 11 月 19 日 (木)

会 場 千歳市社会福祉協議会会議室 2・3

出席者 19 名 ※各表彰区分の代表者

表 彰 社会福祉功労表彰

社会福祉団体役員功労表彰：1 名

ボランティア活動功労表彰：9 名

町内会役員功労表彰：63 名

民生委員児童委員功労表彰：1 名

福祉委員功労表彰：28 名

町内会役員並びに福祉委員功労表彰：3 名

社会福祉貢献表彰

社会福祉貢献表彰：1 団体

社会福祉善行表彰

金品預託善行表彰：2 名 3 団体

ボランティア活動表彰：54 名 5 団体

計：161 個人／9 団体

3 行政とのパートナーシップの推進

(61) 地域福祉の推進に関わる千歳市との情報交換

千歳市の地域福祉計画と連携した地域福祉推進諸活動の継続に向けて、情報交換を行いました。

ア．第 6 次地域福祉実践計画の進捗状況報告資料の提供

(千歳市第 3 期地域福祉計画評価への反映)